

NO
TIME
TO
DIE 007™

DB5



Pack06

BUILDINSTRUCTIONS

- ステージ039VB●ホイールリムの組み立て(簡単組立)
- ステージ039●ホイールリムの組み立て1・アウター(標準組立)
- ステージ040●ホイールリムの組み立て2・インナー(標準組立)
- ステージ041●タイヤの組み立てと取り付け
- ステージ042●エキゾーストパイプの取り付け
- ステージ043●コックピット・フロアのディテールアップ
- ステージ044●ガジェットコントロールパネルの組み立て
- ステージ045●回路基板とケーブルの取り付け
- ステージ046●ドライバーズシート 1
- ステージ047●ドライバーズシート 2

NO TIME TO DIE © Danjaq, LLC and Metro-Goldwyn-Mayer Studios Inc. NO TIME TO DIE, 007™ and related James Bond Indicia © 1962-2023 Danjaq, LLC and Metro-Goldwyn-Mayer Studios Inc. NO TIME TO DIE, 007™ and related James Bond Trademarks are trademarks of Danjaq, LLC. All Rights Reserved.



Aston Martin, the Aston Martin Wings logo and the model name "DB5" are trademarks owned, licensed or used by Aston Martin Lagonda Limited. All Rights Reserved.

AGORAMODELS.
JAMES BOND
—COLLECTION—

必ずお読みください

- ①お届けしたネジには、予備ネジが付属しています。予備は必要本数+1個となります（例：2本必要な場合には「×3」とパーツリストに示されます）。この予備ネジはラベルなどを貼り、種類が分かるようにして保管しておいてください。
- ②1つのステージで複数のネジをお届けする場合があります。組み立てる際には、異なるネジが交ざらないように注意してください。見た目はよく似ていますが、ネジ山が微妙に異なります。誤ったネジを使用すると、ネジ山やパーツが破損することがあります。
- ③複数のネジでパーツを固定する際、最初に各ネジを緩く締め付け、パーツが正しく取り付けられているかを確認してから、各ネジを増し締めしてください（締めすぎないように注意）。ネジの締め込みは、対角線の順に締め付けるのが基本です。
- ④ドライバーの金属部分を強力な磁石でこすると磁化されます。磁化したドライバーを使用すると、先端にネジを吸着して保持しやすくなり、締め込み作業が楽になります。
- ⑤金属パーツを留めるネジがきつい場合、無理に回し込むと頭やネジ山が破損します。爪楊枝の先などに機械オイルやワセリンなどをほんの少し付けてネジ山に塗れば、スムーズに締められます。
- ⑥組み立てには、瞬間接着剤が必要になるパーツがあります。瞬間接着剤の塗布は、爪楊枝などを使って控えめにしてください。瞬間接着剤を塗る前に、パーツを仮組みして合わせ具合などを確認することをおすすめします。瞬間接着剤はごく薄く塗るか、小さいパーツの場合は接着剤をわずかに置くくらいの感じで十分です。
- ⑦開梱したパーツは、当該ステージで使用するパーツとあとの工程で使用するパーツがあります。後者にはラベルなどを貼って、種類が分かるようにして保管しておいてください。
- ⑧作業する際にはカッティングボードやフェルトのような柔らかい布を敷き、パーツの塗装面が傷つかないように注意してください。
- ⑨組立説明の文面に指示される右側・左側とは、座席に座った位置から見た右側・左側となります。つまりドライバー目線の右側・左側ということです。

●厳重注意●

一部の部品には磁石が使われています。磁石を誤飲すると、健康上の問題を生じる場合があります。こうした部品は子供の手の届かないところに置き、磁石を飲み込んだと思われる場合には、すぐに医師の診断を受けてください。

ステージ039VB●ホイールリムの組み立て（簡単組立）

PACK05に続いてリアホイールリムを組み立てていきます。まずは簡単組立のステージで、これまでの簡単組立と同じ工程です。組み立てたあとは、ステージ041に進んでください。

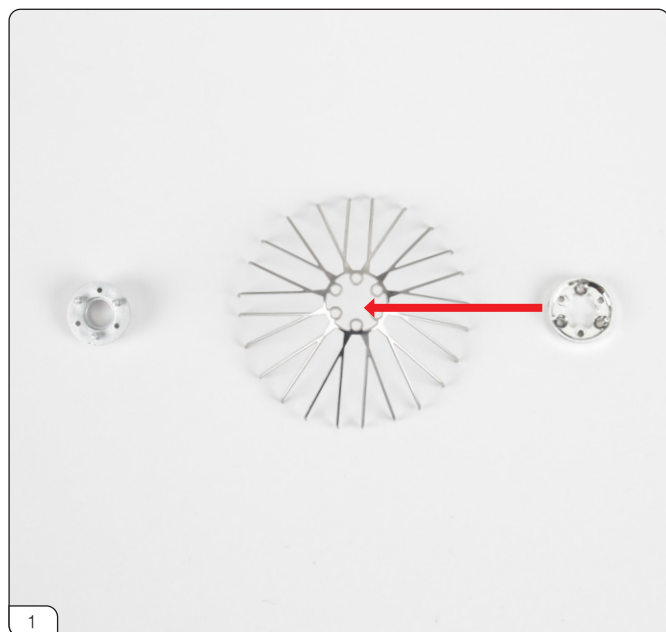


ステージ039VBパーツリスト

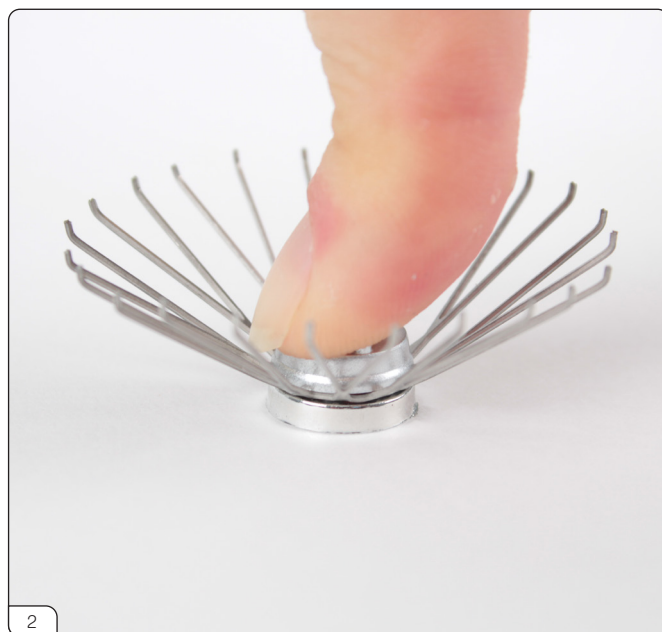
名称	名称
39VB-A アウタースポーク	39VB-H スポークリテーナーリング
39VB-B インナーホイールリム	39VB-I ホイールハブフロント
39VB-C アウターリング	39VB-J リアホイールマウント
39VB-D インナースポーク	PS02ネジ×9
39VB-E アウターホイールリム	PS03ネジ×4
39VB-F ホイールハブバック	PS32ネジ×7
39VB-G インナーリング	



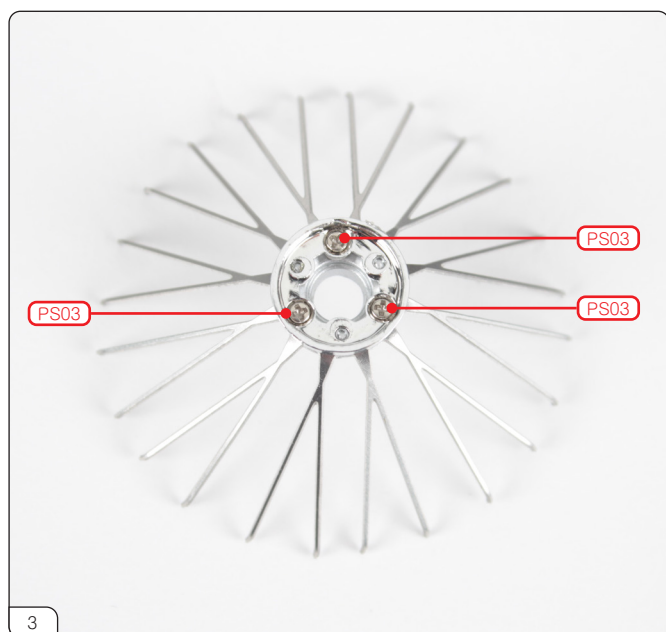
ステージ039VB●ホイールリムの組み立て（簡単組立）



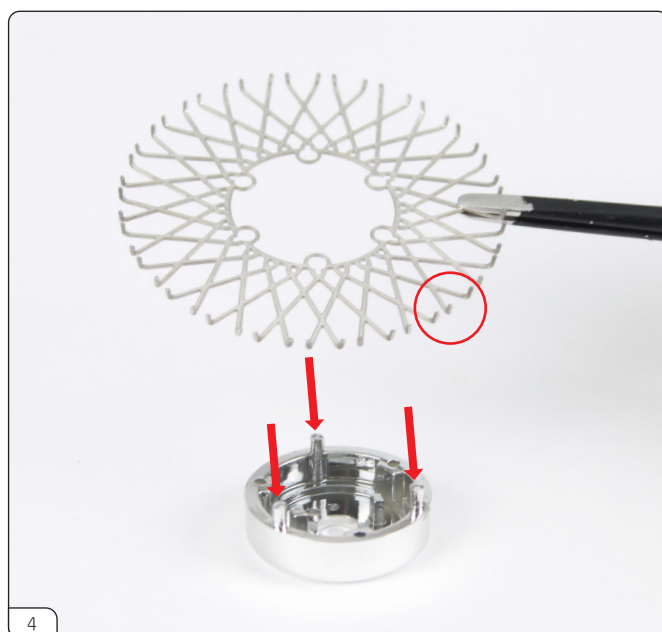
ホイールハブフロント (39VB-I)、アウタースポーク (39VB-A)、アウターリング (39VB-C) を画像のように配置し、アウターリングをスポークの上に置きます (赤矢印)。



アウタースポーク (39VB-A) を裏返し、ホイールハブフロント (39VB-I) の突起をアウターリングの穴に押し込みます。

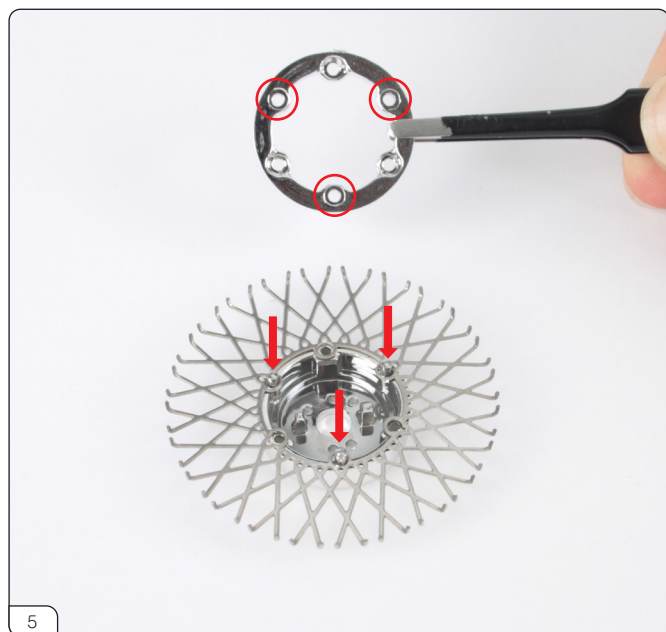


PS03ネジ3本で固定します。

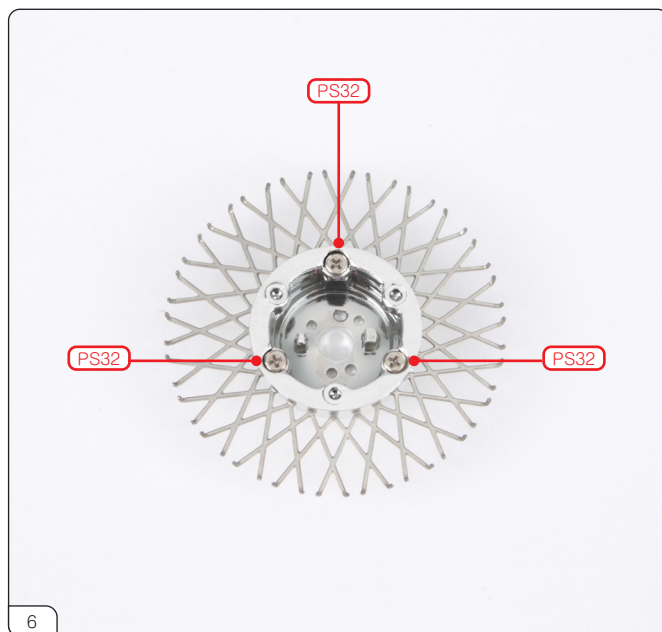


鉤型が上に向くように (赤丸印)、インナースポーク (39VB-D) をホイールハブバック (39VB-F) の3本の突起にセットします (赤矢印)。

ステージ039VB●ホイールリムの組み立て (簡単組立)



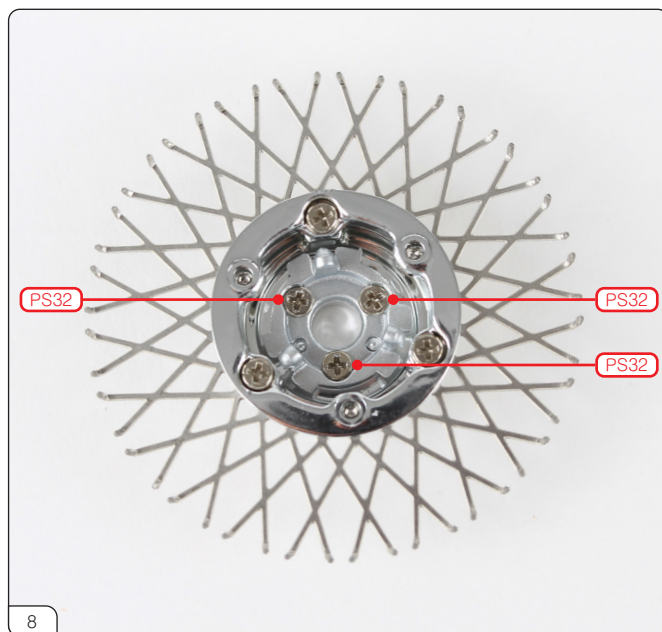
インナーリング (39VB-G) の凹みのない3つの穴 (赤丸印) を、インナースポーク (39VB-D) の赤矢印にはめ込みます。赤矢印の穴が塗料などで塞がれている場合には、カッターの先や目打ちなどで取り除いてください。



PS32ネジ3本で固定します。

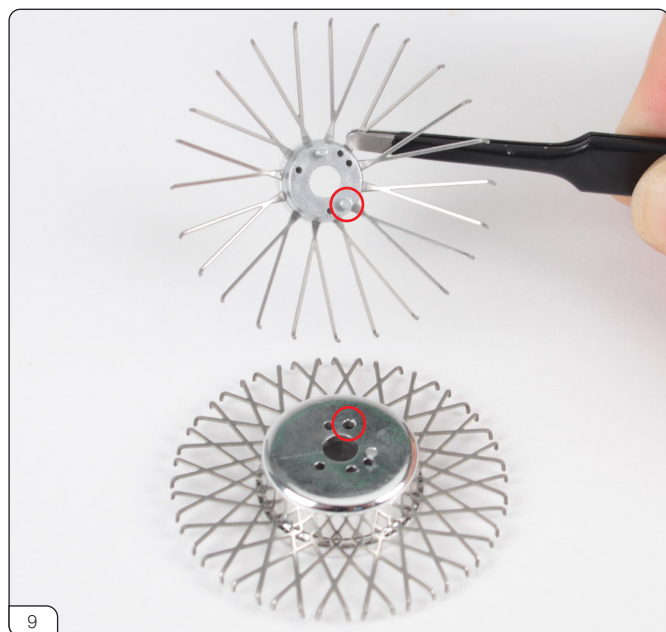


リアホイールマウント (39VB-J) の穴を、ホイールハブの突起に合わせます (赤丸印)。



リアホイールマウント (39VB-J) をセットし、PS32ネジ3本で固定します。

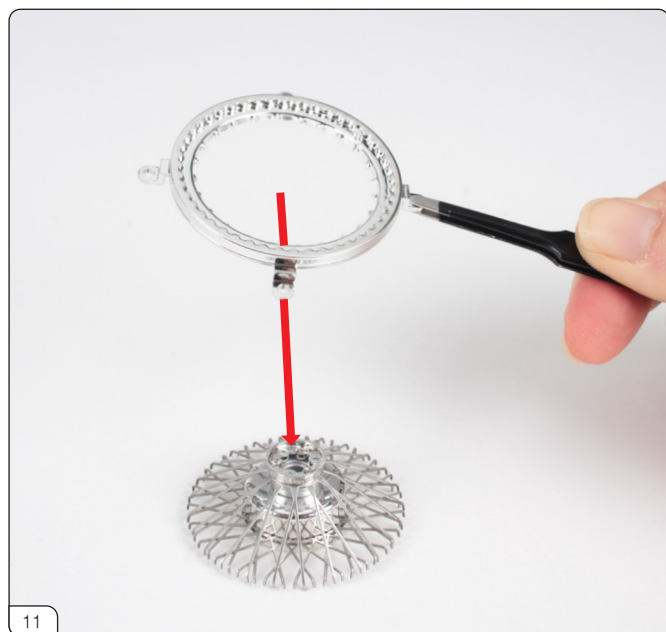
ステージ039VB●ホイールリムの組み立て (簡単組立)



インナースポーク (39VB-D) を裏返し、ホイールハブフロント (39VB-I) の太い突起を赤丸印の穴に入れ、アウトースポークをはめ込みます。



アウトースポーク (39VB-A) の端を、インナースポーク (39VB-D) の端の「V」形状のセンターに収めます (赤矢印)。

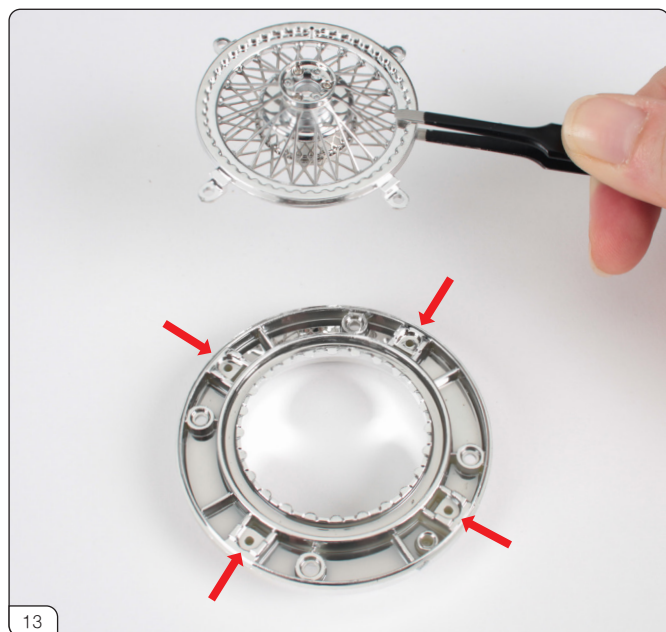


画像のようにスポークリテーナーリング (39VB-H) をアセンブリーにかぶせます。



アウトースポーク (39VB-A) がエッジの周りのくぼみにはまるように、スポークリテーナーリング (39VB-H) を合わせます (左上／小写真)。すべてのアウトースポークがこの位置に納まっているか確認してください。

ステージ039VB●ホイールリムの組み立て (簡単組立)



スポーククリーナーリング (39VB-H) の4つのタブを、インナーホイールリム (39VB-B) のくぼみにはめ込みます (赤矢印)。



PS02ネジ4本で固定します。次の工程でアウターホイールリム (39VB-E) の突起をはめ込む穴を確認してください (赤矢印)。



アウターホイールリム (39VB-E) の突起を、インナーホイールリム (39VB-B) の穴にはめ込みます (赤矢印)。



しっかりと押し込みます。

ステージ039VB●ホイールリムの組み立て (簡単組立)



アッセンブリーを裏返して、PS02ネジ4本で固定します。

ステージの完了



ステージ039●ホイールリムの組み立て1・アウター（標準組立）

ステージ039VBでホイールリムを組み立てた方はステージ041へ進んでください。ここはホイールリムの標準組立のステージです（039と040で組み立てます）。まずはアウターホイールリムを組み立てます。

※動画でも組み立てを解説しています。

<https://youtu.be/iJAt2nvWEQw>

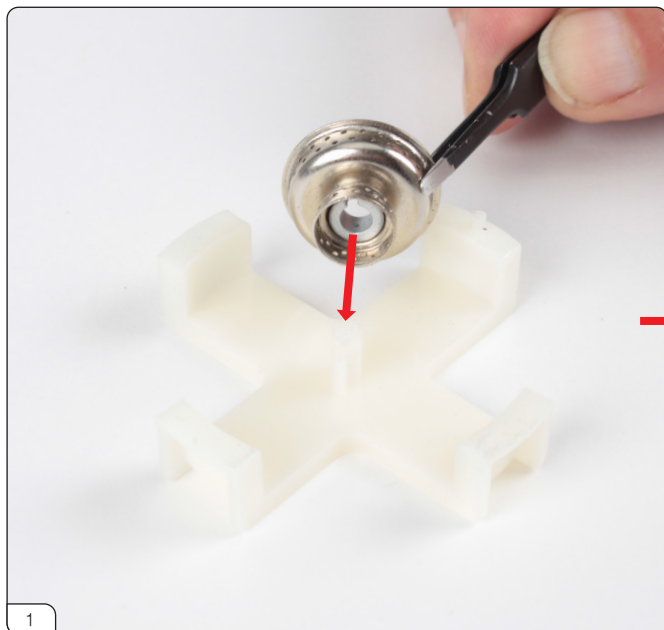


ステージ039パーツリスト

名称
39-A スポークリテーナーリング
39-B ホイールセンター
39-C アウターホイールリム
39-D スポーク ×24
39-D スポーク ×24
PS01ネジ×5



ステージ039●ホイールリムの組み立て1・アウター（標準組立）



ホイールセンター (39-B) の穴をジグ (治具) の支柱に合わせて、はめ込みます。



はめ込まれた状態です。



ジグの突起をガイドとして、アウターホイールリム (39-C) をジグにはめ込みます (赤矢印)。

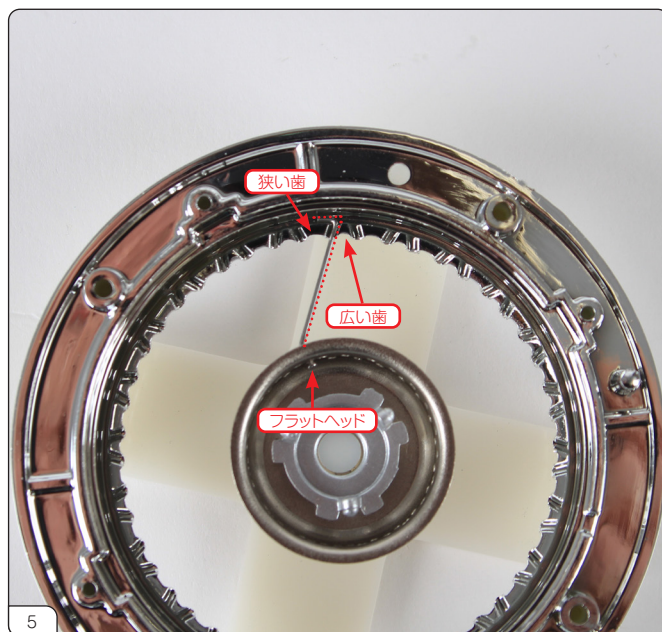


しっかりと押し込んで、アウターホイールリム (39-C) を固定します。

ステージ039●ホイールリムの組み立て1・アウター（標準組立）



スポーク (39-D) の袋を開けて1本のスポークを取り出します（袋はどちらでもOKです）。曲がった先端（アングルドチップ）を下段の穴の1つに通します（どこでもOKです）。開梱したピンセットを使ってください。



スポーク (39-D) のフラットヘッド部分が、ホイールセンターの穴に接するまでスポークを引っ張り、曲がった先端を幅の広い歯の方向に向けて引っ掛けます（破線部分／スポークは画像の角度となります）。

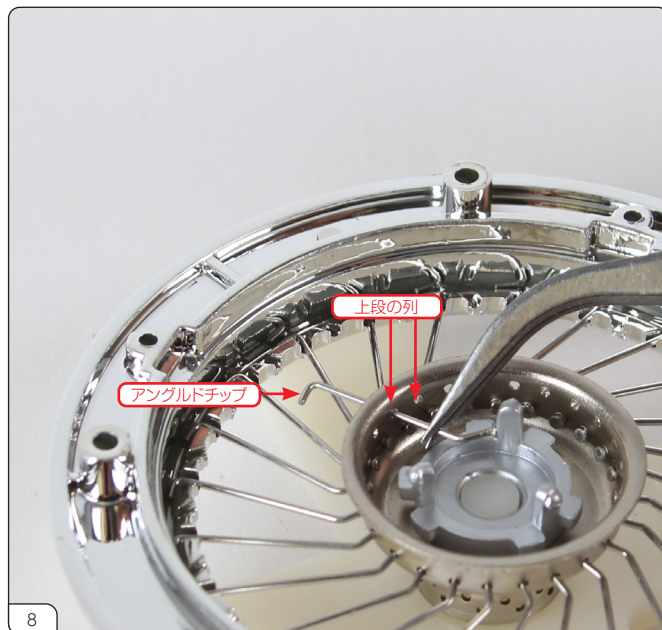


2本目のスポーク (36-D) を1本目の右横の穴に通し、先端を次の幅の広い歯に引っ掛けます（赤矢印）。あとはこの繰り返しです。残りのスポークを装着していく際に、親指の平でホイールセンター (39-B) をひねることで、テンションを調整することができます。

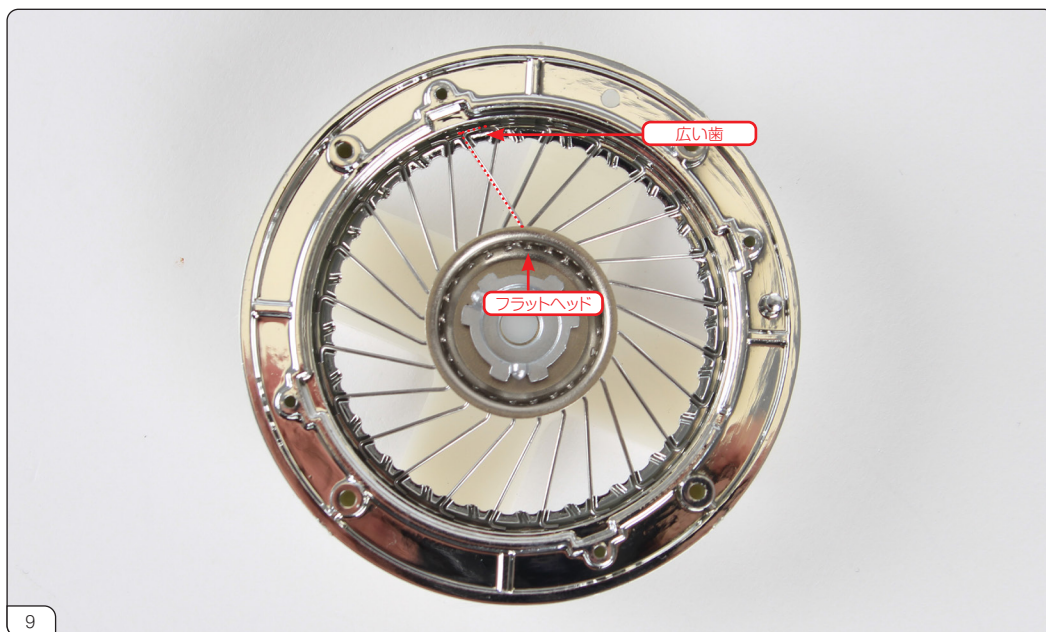
ステージ039●ホイールリムの組み立て1・アウター（標準組立）



24本のスポークがすべて所定の位置に引っ掛けられました。



もう1つのスポーク（39-D）の袋を開け、曲がった先端（アングルドチップ）を上段の穴の1つに通します（どこでもOKです）。



スポーク（39-D）のフラットヘッド部分が、ホイールセンター（39-B）の穴に接するまでスポークを引っ張り、曲がった先端を幅の広い歯の方向に向けて引っ掛けます（破線部分／スポークは画像の角度となります）。上段にスポークをセットしていると、どうしてもこれまでセットしたスポークが乱れてしまいますが、小さな乱れは気にせずに最終段階で調整するようにしましょう。

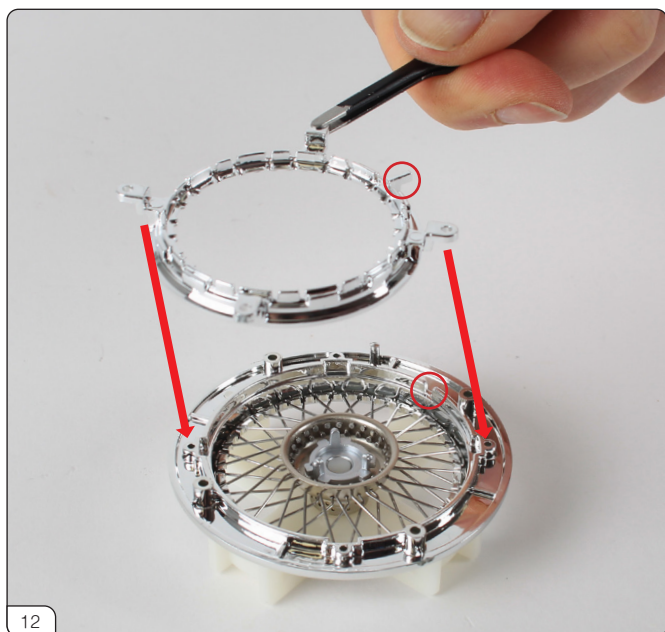
ステージ039 ● ホイールリムの組み立て1・アウター (標準組立)



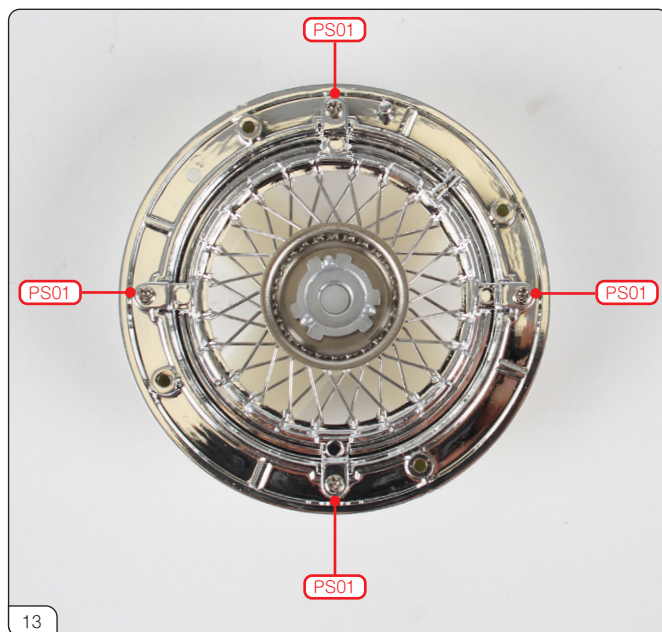
2本目のスポーク (39-D) を1本目の右横の穴に通し、先端を次の幅の広い歯に引っ掛けます (赤矢印)。スポークが交差した部分は菱形になるはず (赤線)。あとはこの繰り返しです。



24本のスポークがすべて所定の位置に引っ掛けられました。



タブ (赤丸印) をガイドにしてスポークリテーナーリング (39-A) をはめ込みます (赤矢印)。



スポーク (39-D) が所定の位置に収まっていることを確認し、PS01 ネジ4本でスポークリテーナーリング (39-A) を固定します。

ステージ039●ホイールリムの組み立て1・アウター（標準組立）

ステージの完了



ステージ040●ホイールリムの組み立て2・インナー（標準組立）

インナーホイールリムにスポークを組み込んで、ステージ039で組み立てたアウターホイールリムと合わせます。これで1本のタイヤのホイールリム（標準組立）が完了します。



ステージ040パーツリスト

名称
40-A インナーホイールリム
40-B スペーサーリング
40-C スポークタイプA ×12
40-D スポークタイプB ×12
PS02ネジ×5



40-A



40-B



40-C ×12



40-D ×12

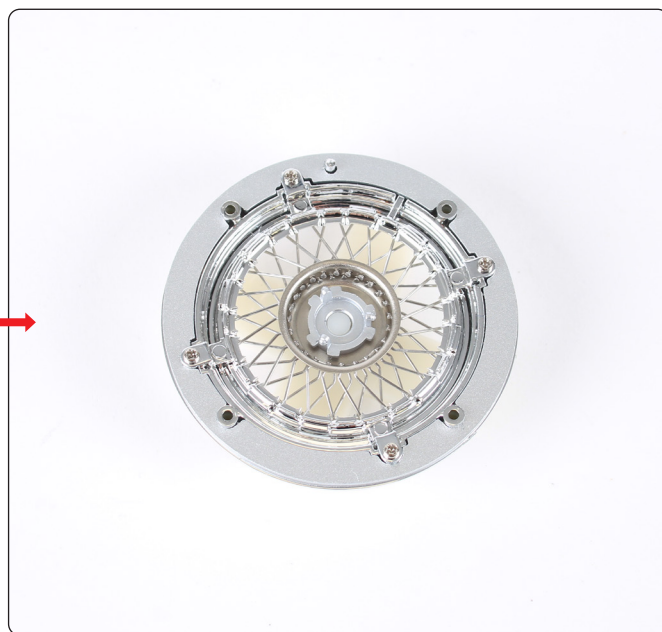


PS02 ×5

ステージ040●ホイールリムの組み立て2・インナー（標準組立）



1
スペーサーリング (40-B) をステージ039で組み立てたアウターホイールリムに合わせます。赤丸印の穴と突起をガイドにしてください。



スペーサーリング (40-B) がはめ込まれた状態です。



2
アッセンブリーを裏返し、スポークタイプA (40-C) をホイールセンターの下段の穴に押し込みます。



3
スポークタイプA (40-C) をピンセットで引き抜き、菱形の中央部に通します。

ステージ040●ホイールリムの組み立て2・インナー（標準組立）



アッセンブリーを裏返し、スポークタイプA (40-C) の曲がった先端（アングルドチップ）を、幅の広い歯に引っ掛けます。もし狭い歯にスポークタイプAが合うようならば、裏返して差し込む菱形を次の菱形に変えてください。広い歯に引っ掛けないと、スポークタイプAはセットできません。



続いてもう1本のスポークタイプA (40-C) を、次の下段の穴に通します。画像の赤線ハイライトのようにスポークタイプAは、最初の菱形の2つ目の菱形に通します。

前工程の作業を繰り返して、スポークタイプA (40-C) のすべてをセットします。

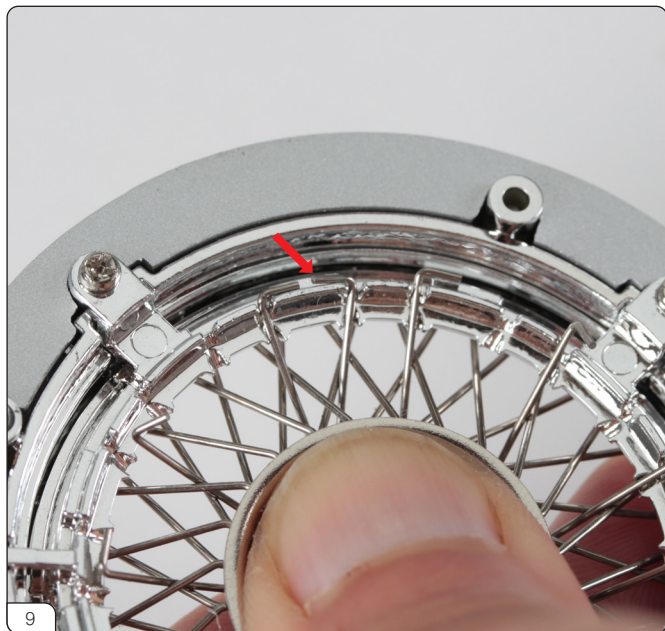
ステージ040●ホイールリムの組み立て2・インナー（標準組立）



続いてスポークタイプB (40-D) を上段の穴に通します。下段のスポークタイプA (40-C) の左側（赤丸印）で交差させ、先端（アングルドチップ）をスポークが通っていない菱形へ導きます（赤線部分）。



親指でスポークタイプB (40-D) を押し込みながら、人差し指で先端を菱形に通します。

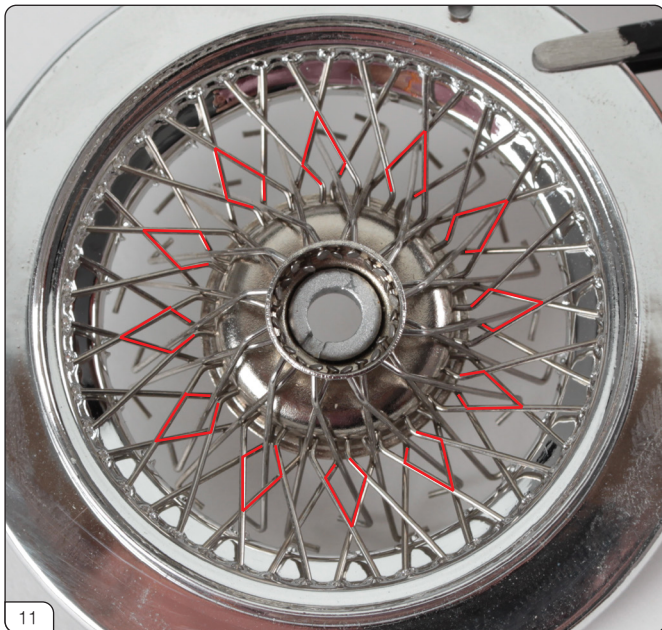


アッセンブリーを裏返して、幅の広い歯に引っ掛けます。先端は下段のスポークタイプA (40-C) の先端と向き合うようにセットされます。



裏返して次のスポークタイプB (40-D) を上段の隣の穴に通します。

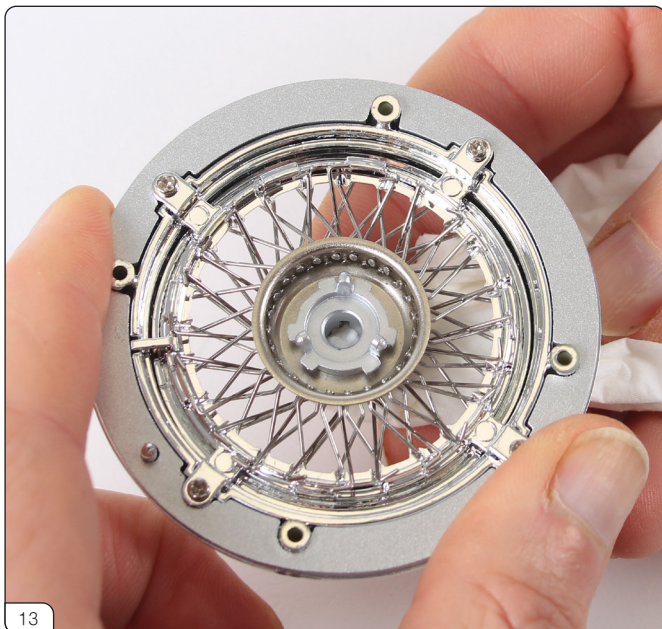
ステージ040●ホイールリムの組み立て2・インナー（標準組立）



前工程の作業を繰り返して、スポークタイプB (40-D) のすべてをセットします。



すべてのスポークが正しく装着されていることを確認したら、次の工程で幅の広い歯に引っ掛けていきます。まず、スポークを固定するために、ティッシュペーパーをホイールセンターに押し込んでください。

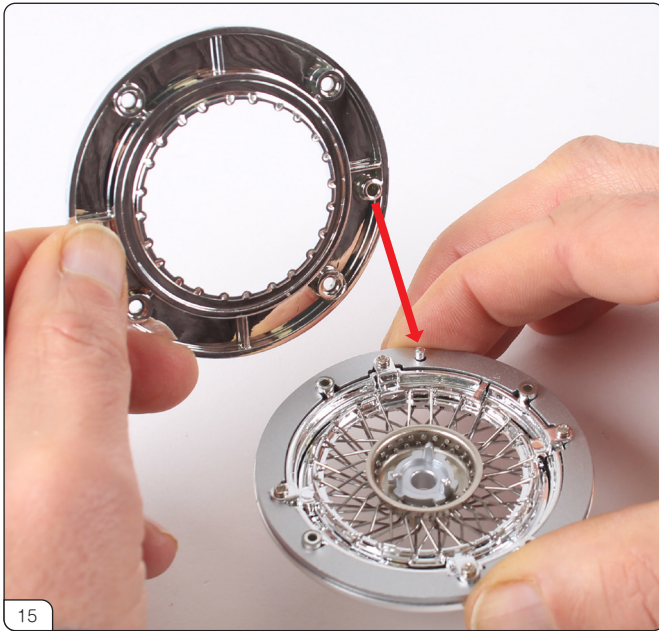


アッセンブリーを裏返します。

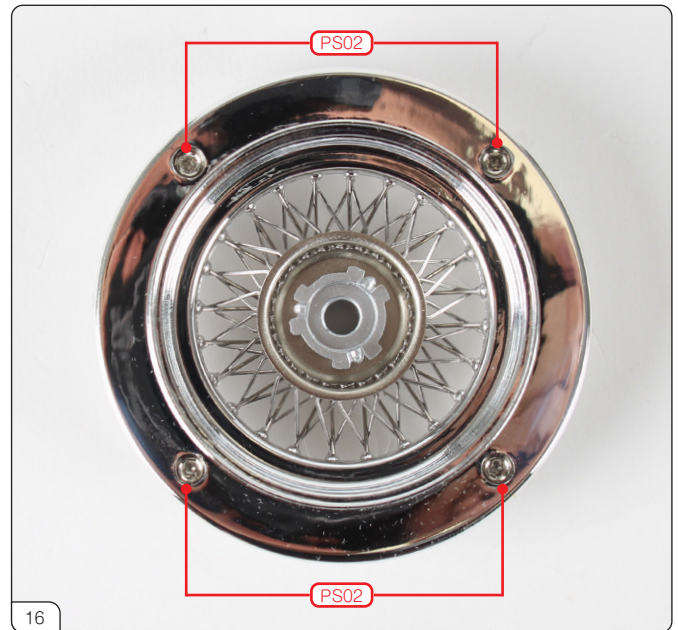


スポークを指で幅の広い歯に引っ掛けていきます。指の腹でテンションを調整しながら引っ掛けていきましょう。

ステージ040●ホイールリムの組み立て2・インナー（標準組立）



インナーホイールリム（40-A）をアッセンブリーに合わせます。赤矢印の穴と突起をガイドとして合わせてください。



インナーホイールリム（40-A）を押し込み、スポークに乱れがないか確認して、PS02ネジ4本で固定します。

ステージの完了



ステージ041●タイヤの組み立てと取り付け

組み立てたホイールリムにタイヤを装着します。



ステージ041パーツリスト

名称

41-A タイヤ

41-B ハブキャップ

41-C タイヤスラッシャー



ステージ041●タイヤの組み立てと取り付け



お湯を入れたボウルにタイヤ (41-A) を入れ、柔らかくします。



1～2分後、ピンセットを使ってタイヤ (41-A) を取り出し、布で水分を拭きます。火傷をしないように注意してください。



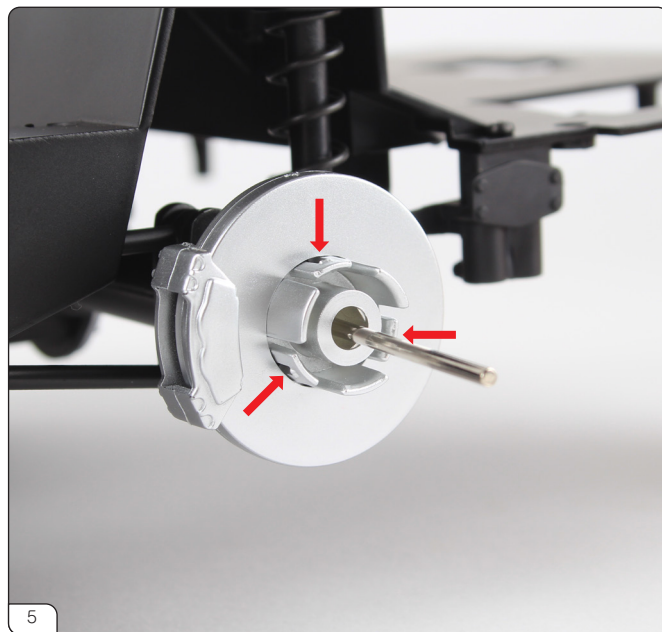
タイヤ (41-A) が柔らかいうちに、ステージ039VBまたはステージ040で組み立てたホイールリムをはめ込みます。リムをタイヤの内側に押し付け、回すようにしながらタイヤをリムに収めていきます。



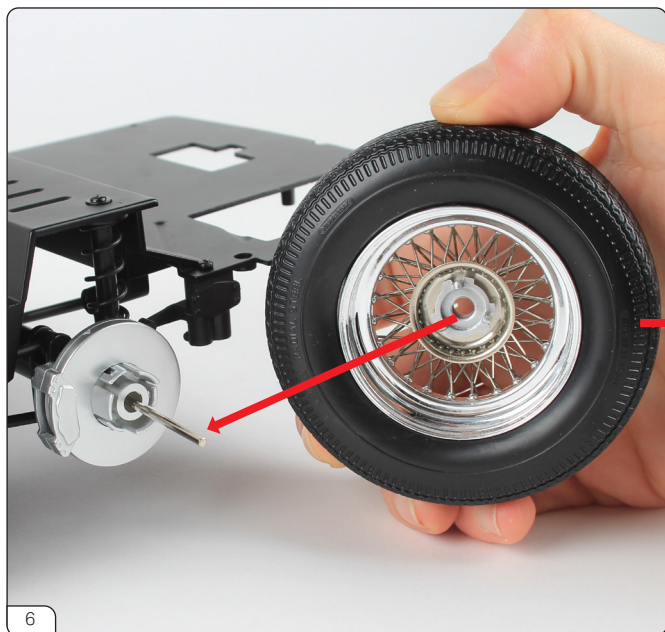
ステージ041 ● タイヤの組み立てと取り付け



リアホイールリムには、3本のロックポスト (丸印) が設けられています。

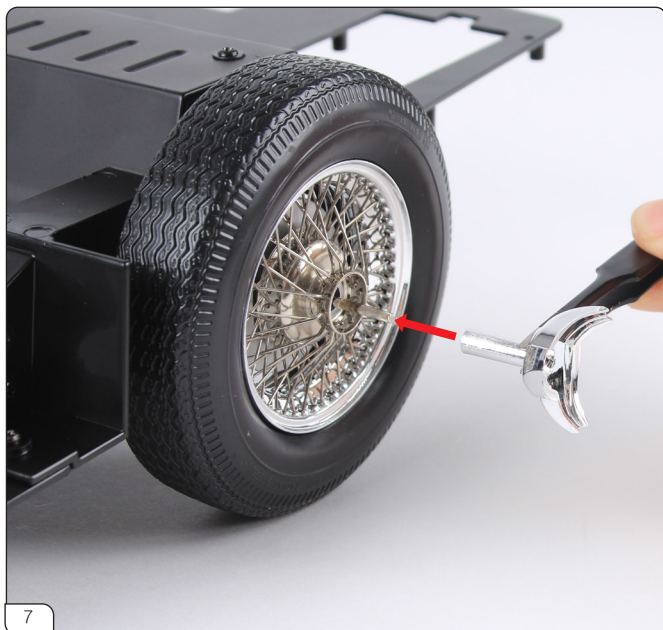


ロックポストは、リアハブのタブ (赤矢印) にはめ込まれて固定されます。

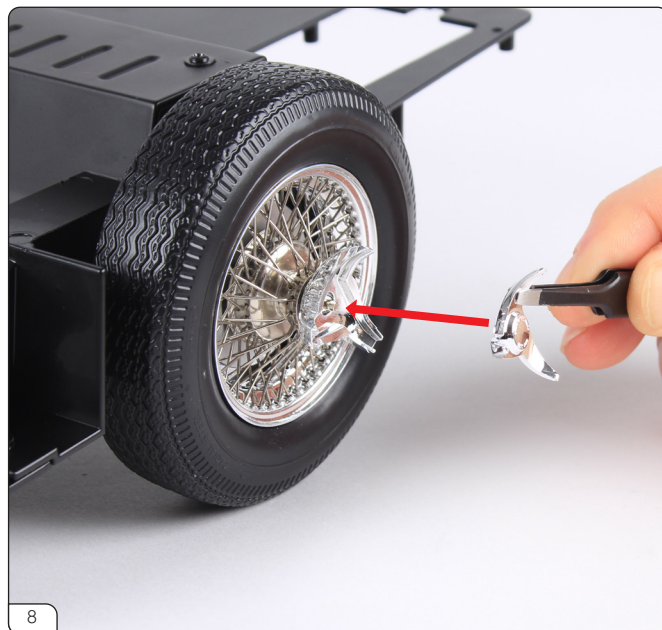


ロックポスト (工程4の赤丸印) とタブ (工程5の矢印) が合っていることを確認しながら、ホイールを左リアハブにはめ込みます。カチッと音がするまでしっかりと押し込んでください。

ステージ041 ● タイヤの組み立てと取り付け



ハブキャップ (41-B) をホイールの中央のピンにはめ込みます。



タイヤスラッシャー (41-C) をハブキャップに合わせ、ピンの端を押し込みます。タイヤスラッシャーは、クラシックデザインです。あとの工程で異なるパーツに交換できるオプションがあります。



このピンによってタイヤスラッシャー (41-C) がハブキャップから引き離されて、ホイールから独立して回転します。ブレードの先端 (赤丸印) を握り、ハブキャップから引き離しておきます。

ステージ041●タイヤの組み立てと取り付け

ステージの完了



ステージ042●エキゾーストパイプの取り付け

シャシーの下面に、エキゾーストパイプとマフラーを取り付けます。

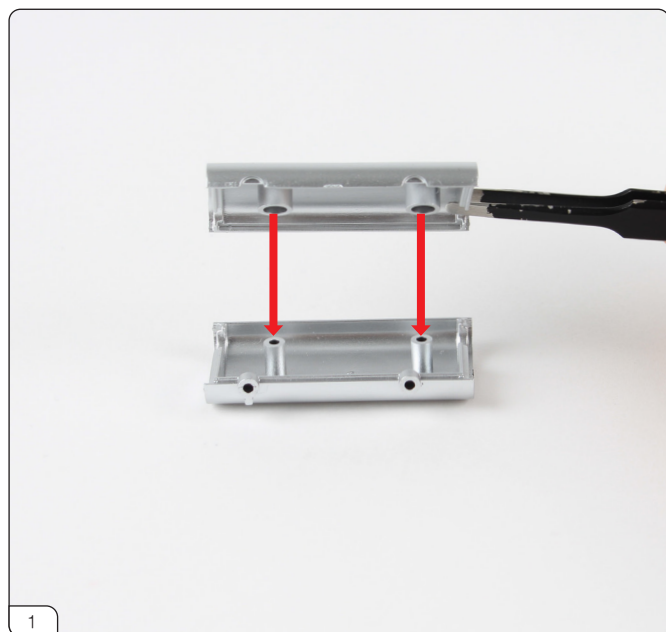


ステージ042パーツリスト

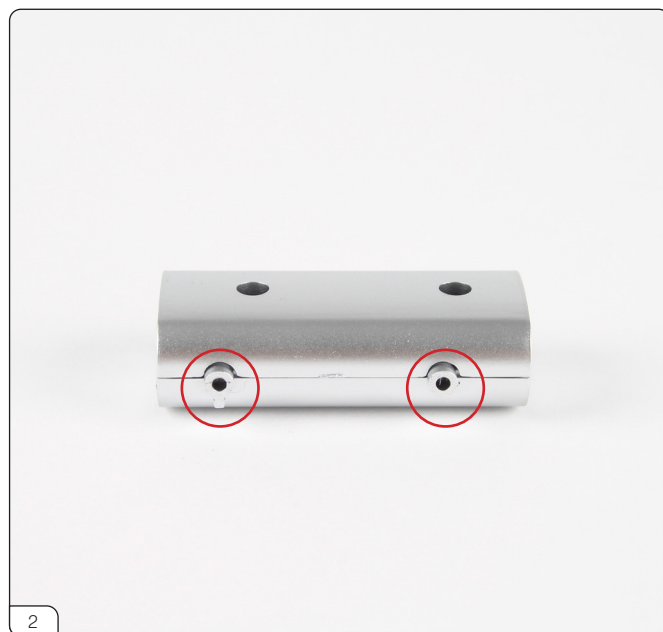
名称
42-A マフラー1
42-B マフラー1
42-C マフラー2
42-D マフラー2
42-E エキゾーストパイプ
42-F エキゾーストパイプ
PS05ネジ×13



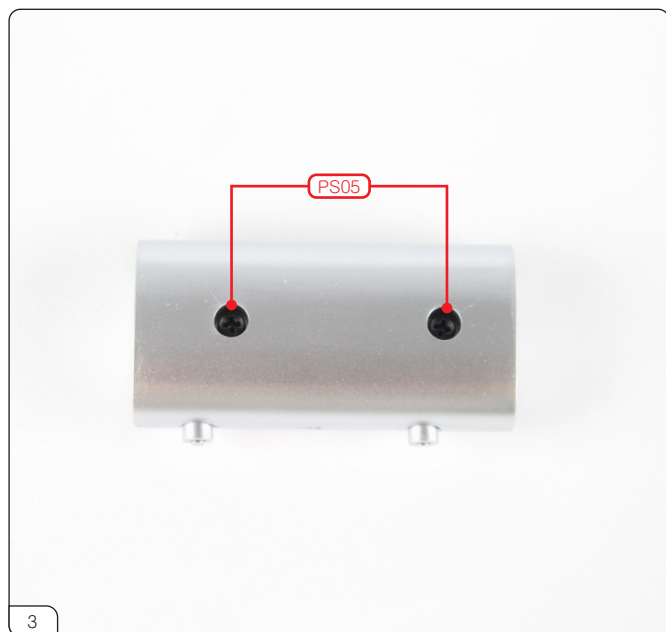
ステージ042●エキゾーストパイプの取り付け



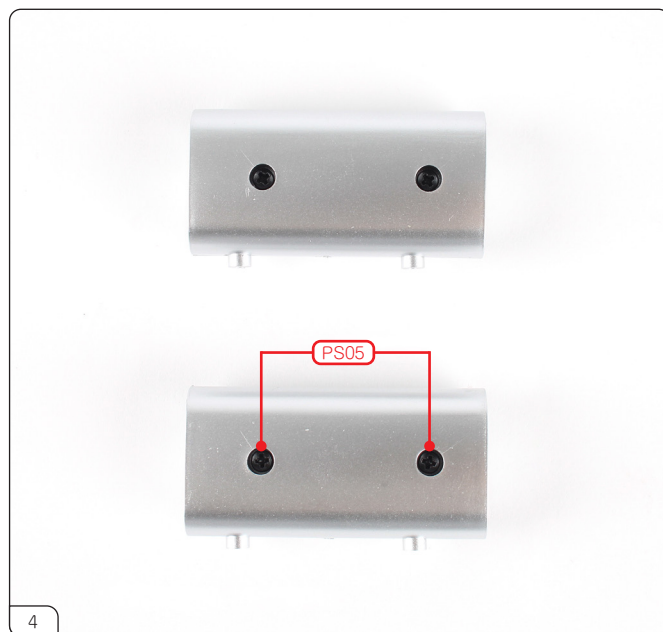
マフラー1を組み立てます。マフラー1 (42-A)、マフラー1 (42-B) を合わせます。



サイドからネジポストが出ます。これは工程5でマフラーを取り付けるネジ穴です (赤丸印)。

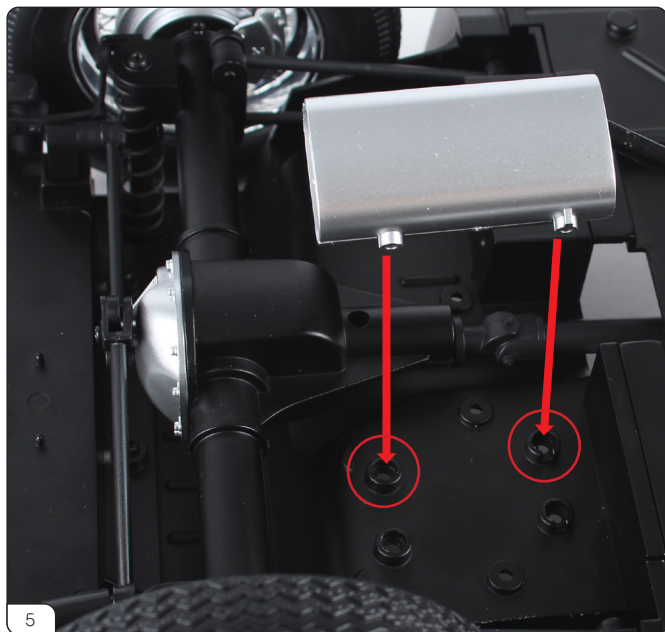


PS05ネジ2本で固定します。

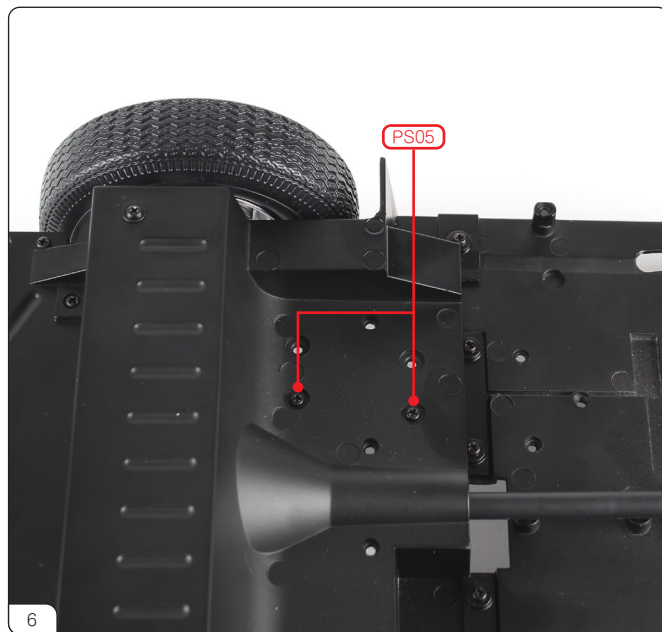


マフラー2を組み立てます。マフラー2 (42C)、マフラー2 (42D) を合わせて、PS05ネジ2本で固定します。

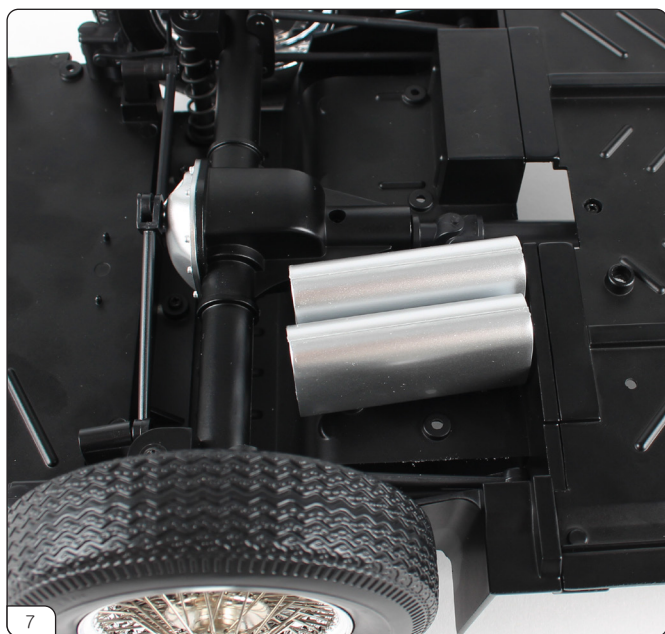
ステージ042●エキゾーストパイプの取り付け



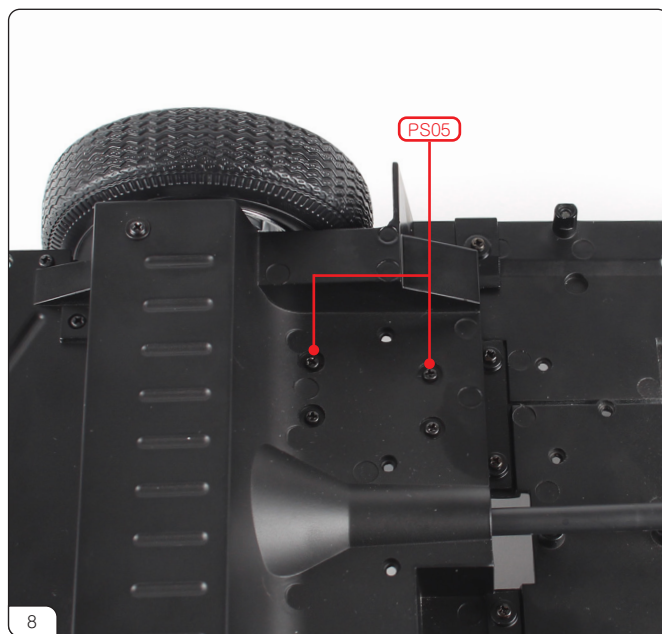
マフラーの一つのネジ穴を、赤丸印の穴に差し込みます。どちらのマフラーでもOKです。



アッセンブリーを裏返して、PS05ネジ2本で固定します。

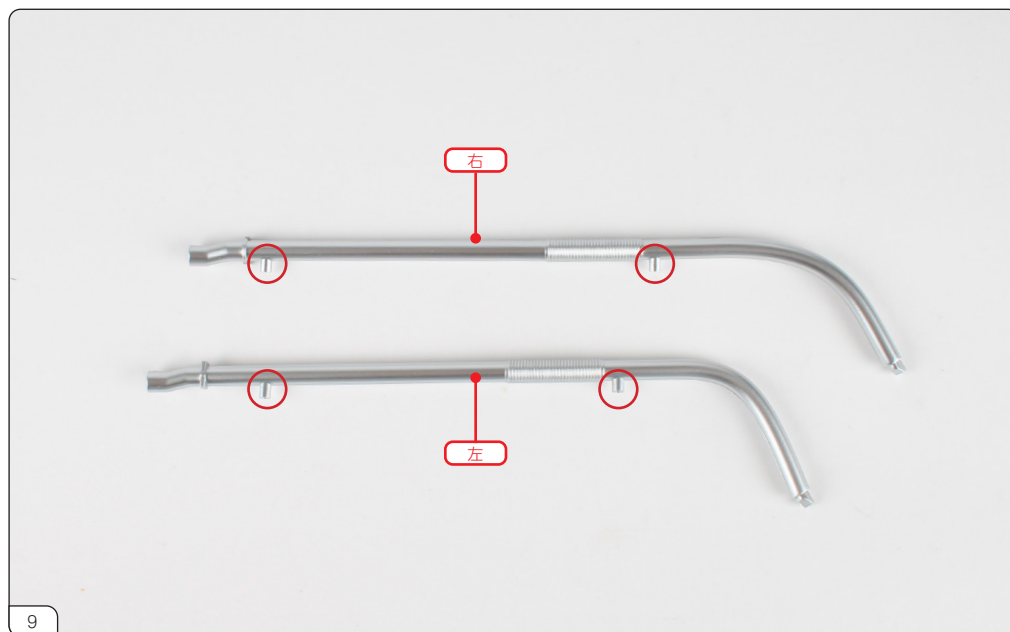


もう一つのマフラーも1本目と同じように取り付けます。

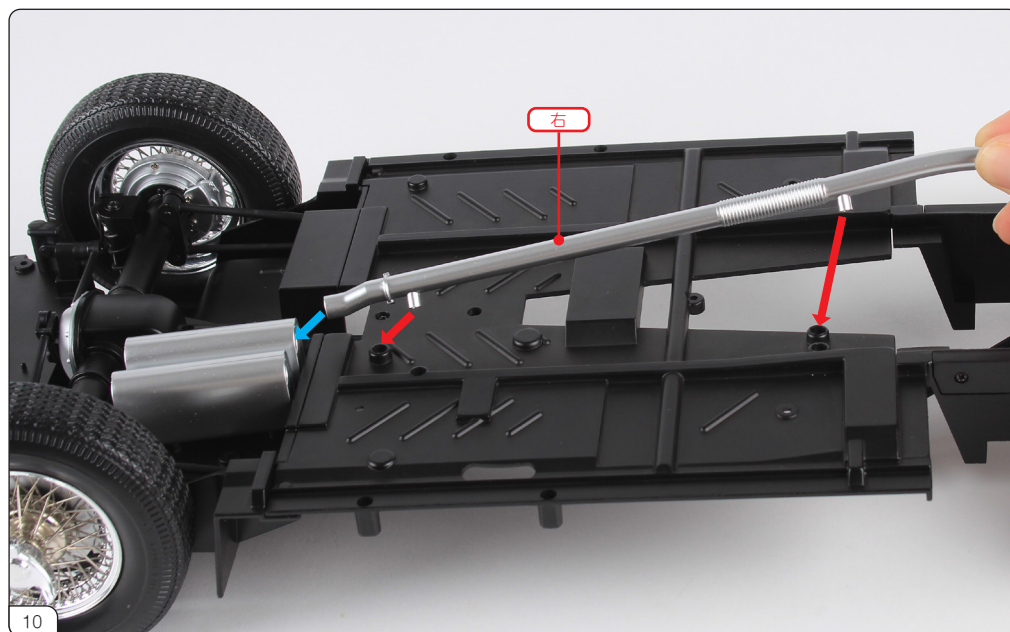


アッセンブリーを裏返して、PS05ネジ2本で固定します。

ステージ042●エキゾーストパイプの取り付け

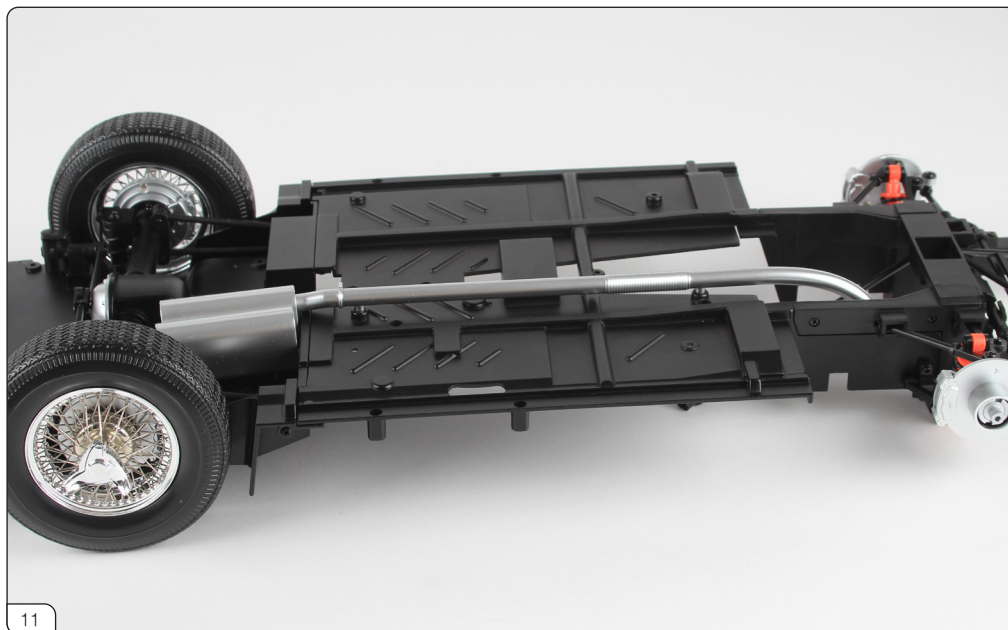


エキゾーストパイプには左右の区別があります。長いほうが右エキゾーストパイプで、ネジポスト（赤丸印）の間隔が離れています。

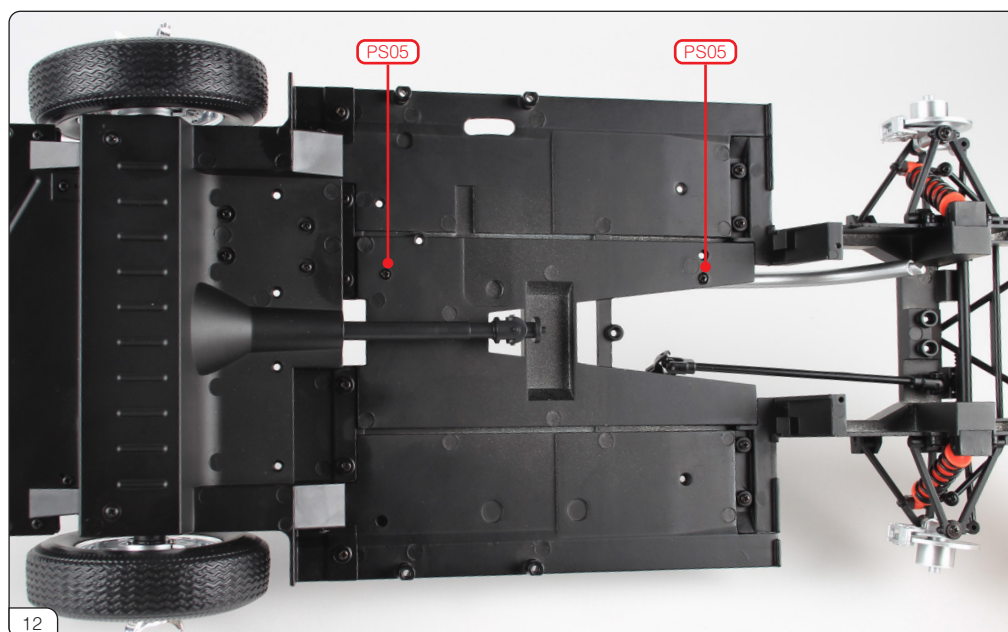


画像のように、緩いクランクがついた右エキゾーストパイプをマフラーにはめ込み（青矢印）、ネジ穴をネジポストに差し込みます（赤矢印）。

ステージ042●エキゾーストパイプの取り付け

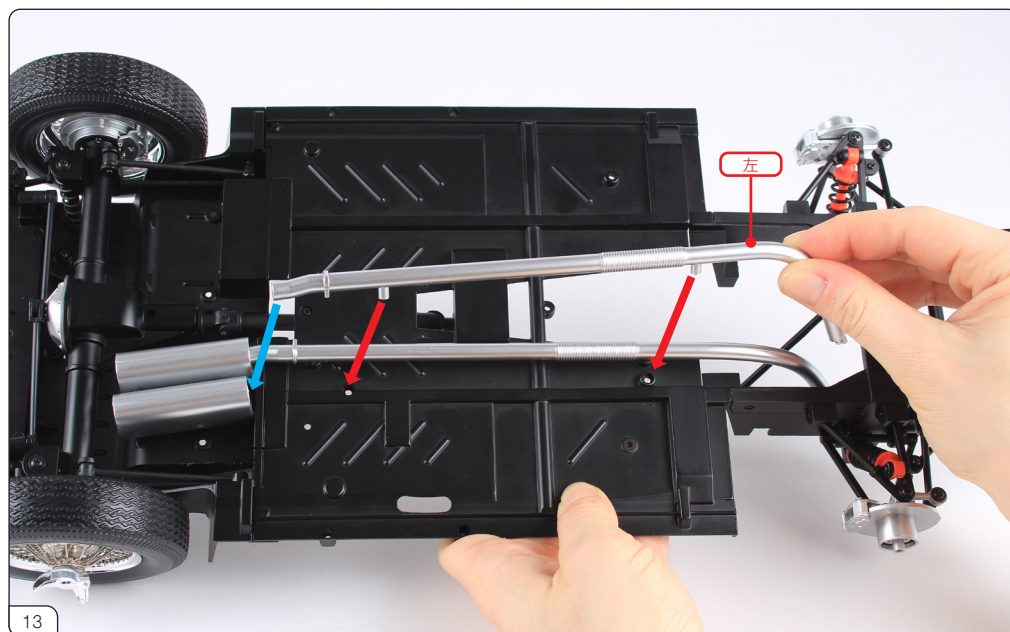


右エキゾーストパイプが正しく配置された状態です。

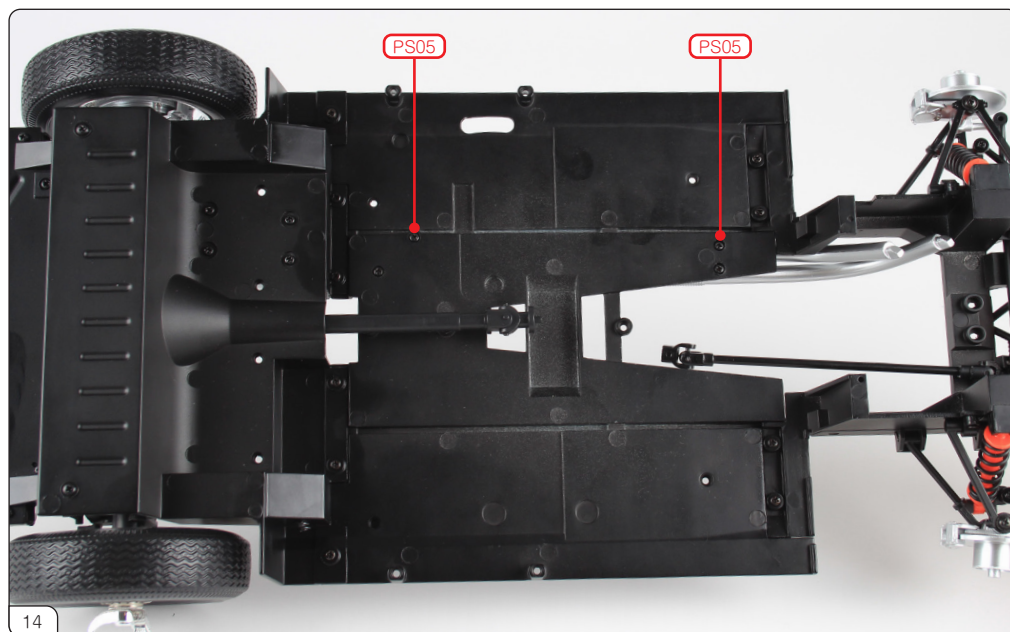


PS05ネジ2本で固定します。

ステージ042●エキゾーストパイプの取り付け



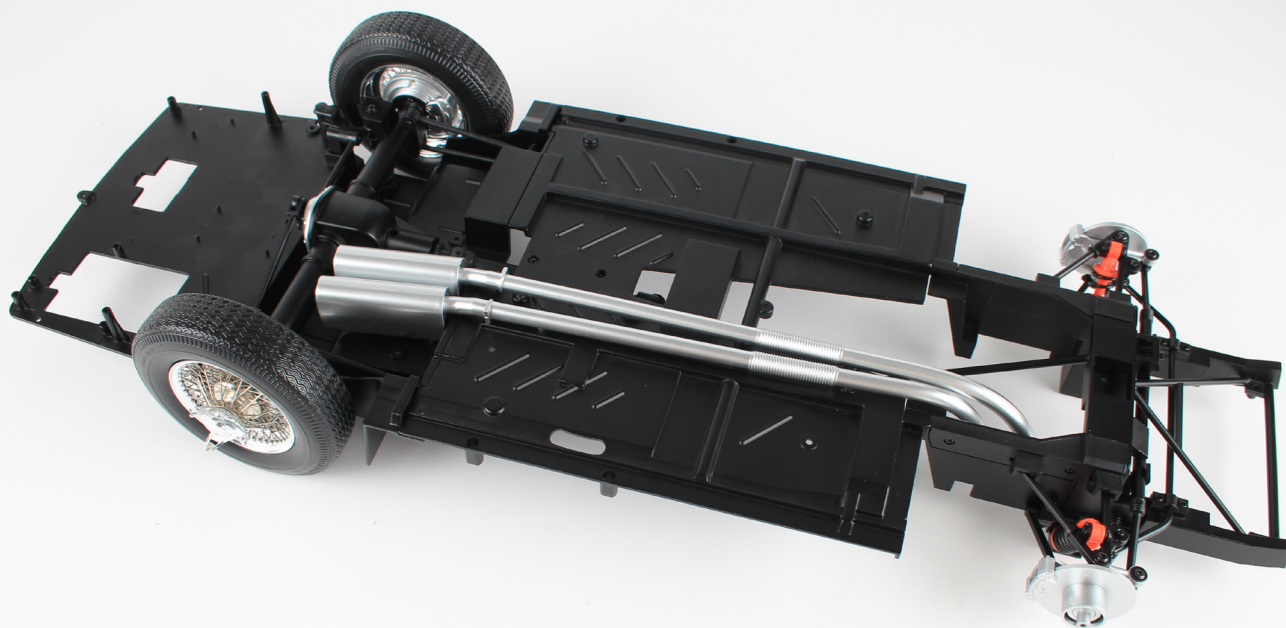
画像のように、緩いクランクがついた左エキゾーストパイプをマフラーにはめ込み（青矢印）、ネジ穴をネジポストに差し込みます（赤矢印）。



PS05ネジ2本で固定します。

ステージ042●エキゾーストパイプの取り付け

ステージの完了



ステージ043●コックピット・フロアのディテールアップ

カーペット・ギアスティック・ハンドブレーキなどを取り付け、コックピットフロアを作り込んでいきます。

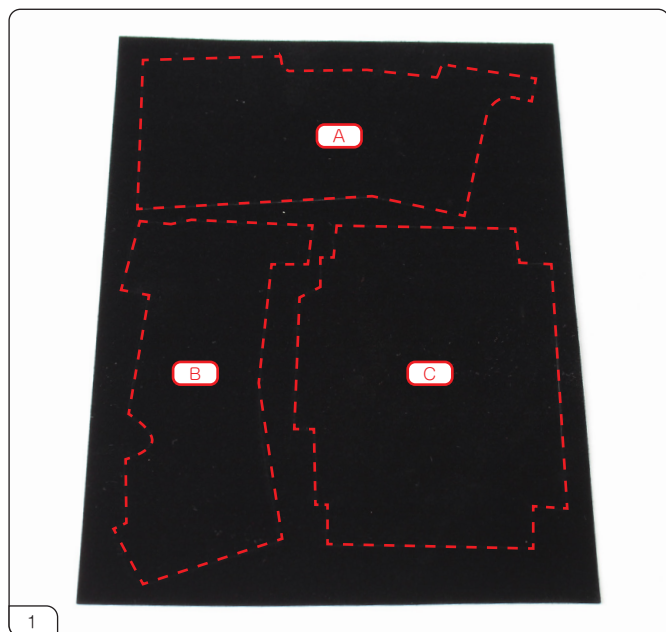


ステージ043パーツリスト

名称	名称
43-A コックピットフロア	43-H 電源スイッチ
43-B スイッチブラケット	PS05ネジ×3
43-C ワイヤーブラケット ×2	カーペットステッカー 1
43-D ハンドブレーキ	カーペットステッカー 2
43-E ギアスティックカバー	カーペットステッカー 3
43-F ギアスティック	カーペットステッカー 4
43-G ギアスティックノブ	



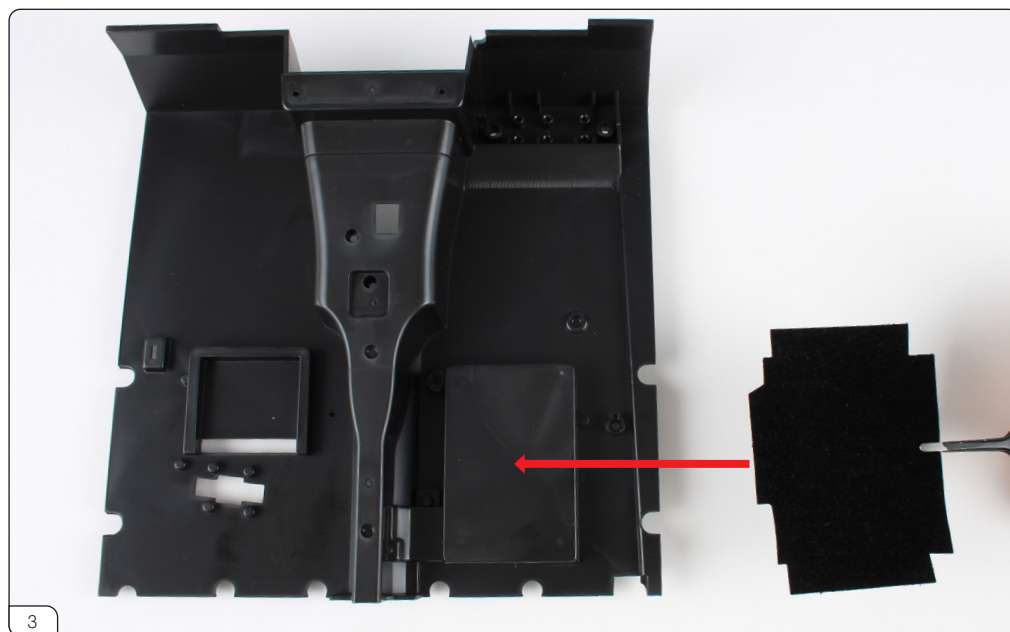
ステージ043●コックピット・フロアのディテールアップ



カーペットステッカー1を貼り付けていきます。カーペットステッカー1には、A、B、Cの3つのピースがあります。

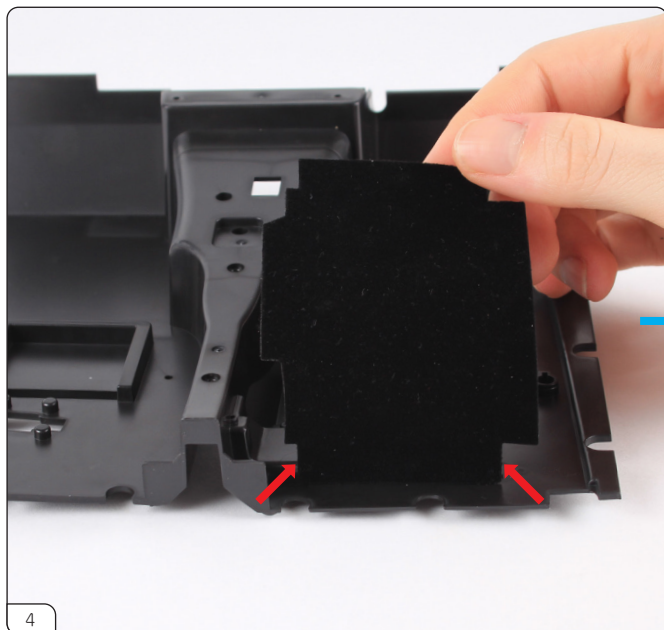


ピースCを剥がします。切れていない部分があれば、カッターで切り離してください。



画像のように、ピースCをコックピットフロア (43-A) の盛り上がった長方形部分に配置します。

ステージ043●コックピット・フロアのディテールアップ



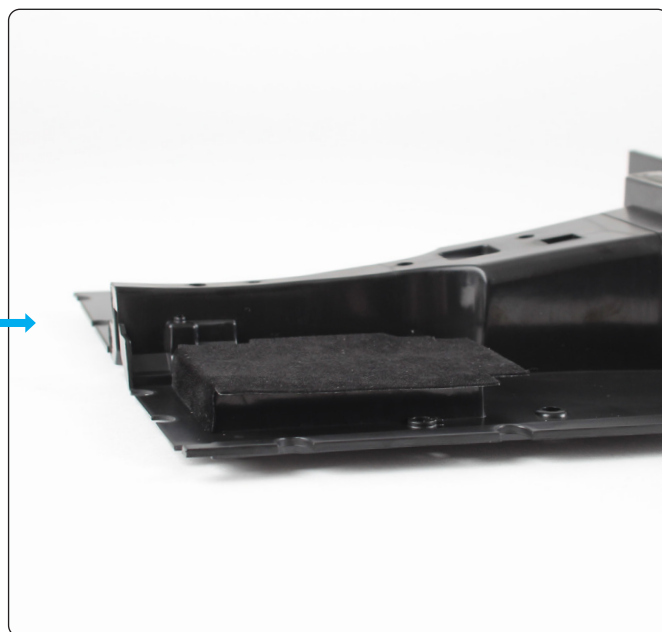
最初に、盛り上がった長方形部分の前面にピースCを配置します。エッジ部分（赤矢印）をしっかりと合わせて貼り込みます。



ピースCの末端部分が前面に貼り込まれた状態です。

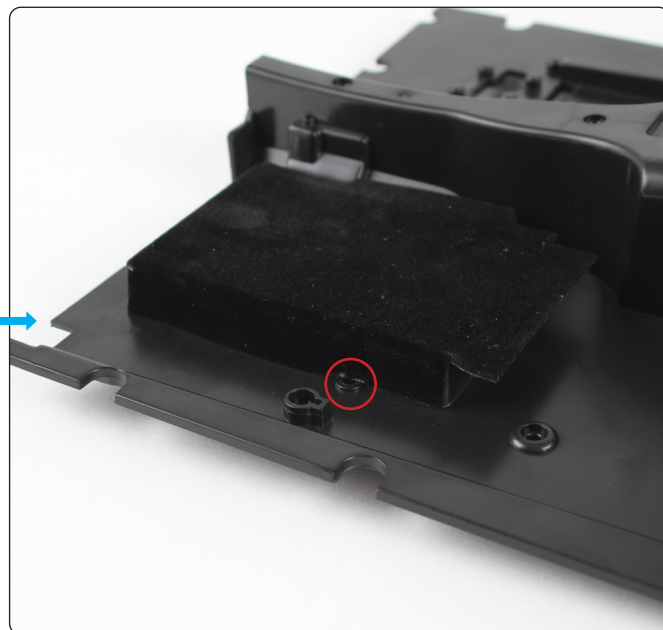


ピースCを引っ張りながら、長方形の上にかぶせます。



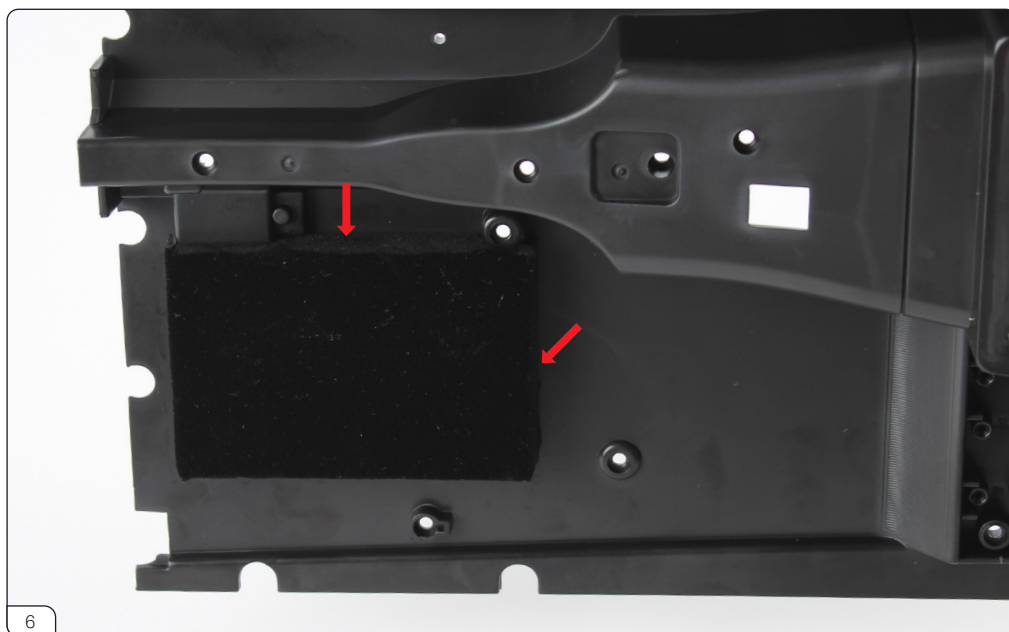
ピースCが貼り込まれた状態です。

ステージ043●コックピット・フロアのディテールアップ



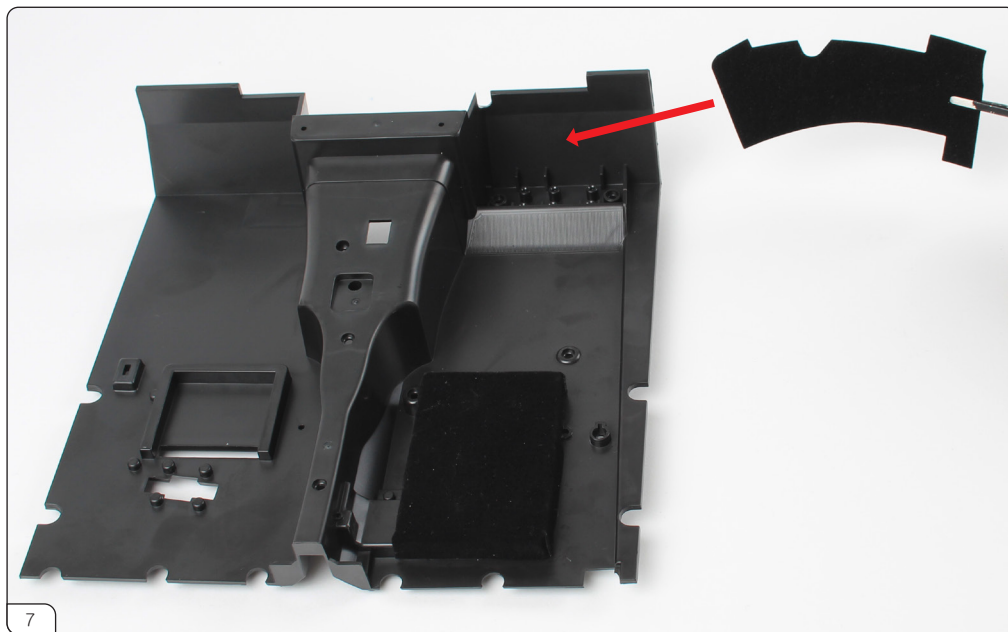
サイドを折り込んで貼っていきます。ピンセットの平らな部分を使って、プレスしながら貼り込むとうまくなります。

赤丸印の穴が出ていることを確認します。



反対側のサイド(赤矢印)も同様に折り込んで貼り付けます。

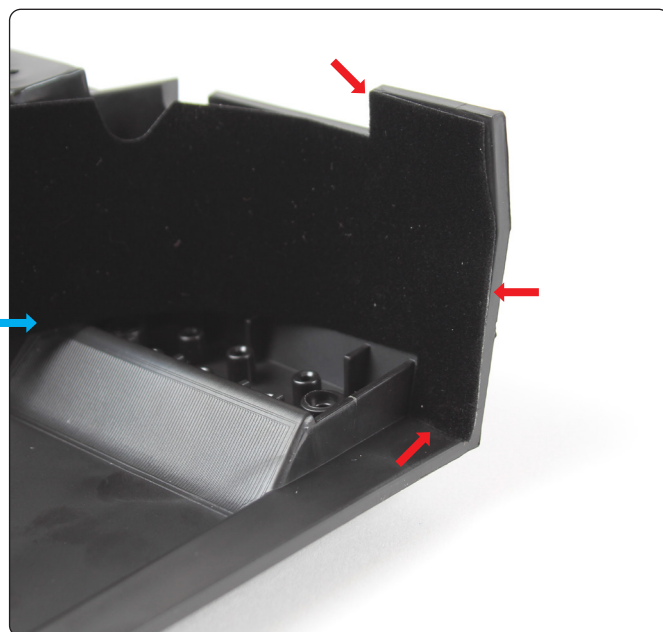
ステージ043●コックピット・フロアのディテールアップ



カーペットステッカー1からピースBを剥がし、コックピットフロアに配置します。



コックピットの外側の端から貼り込んでいきます。



赤矢印の端をしっかりと合わせます。

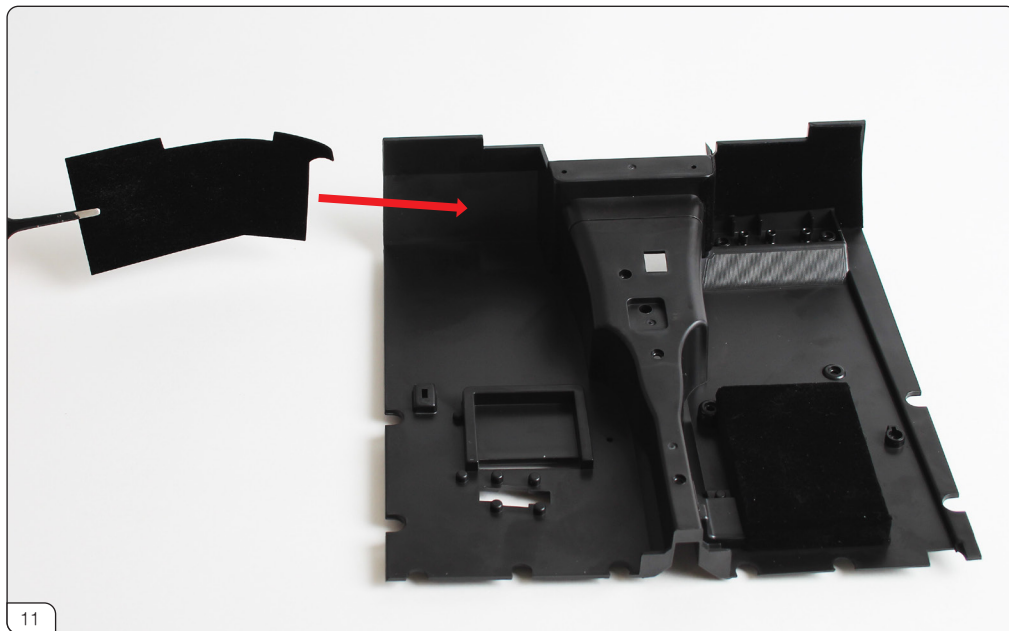
ステージ043 ● コックピット・フロアのディテールアップ



ピースBを指で平らにならしながら貼り付け、赤矢印の端を揃えます。



ピースBが貼り込まれた状態です。



ピースAを剥がして、ピースBの反対側のフロアに配置します。

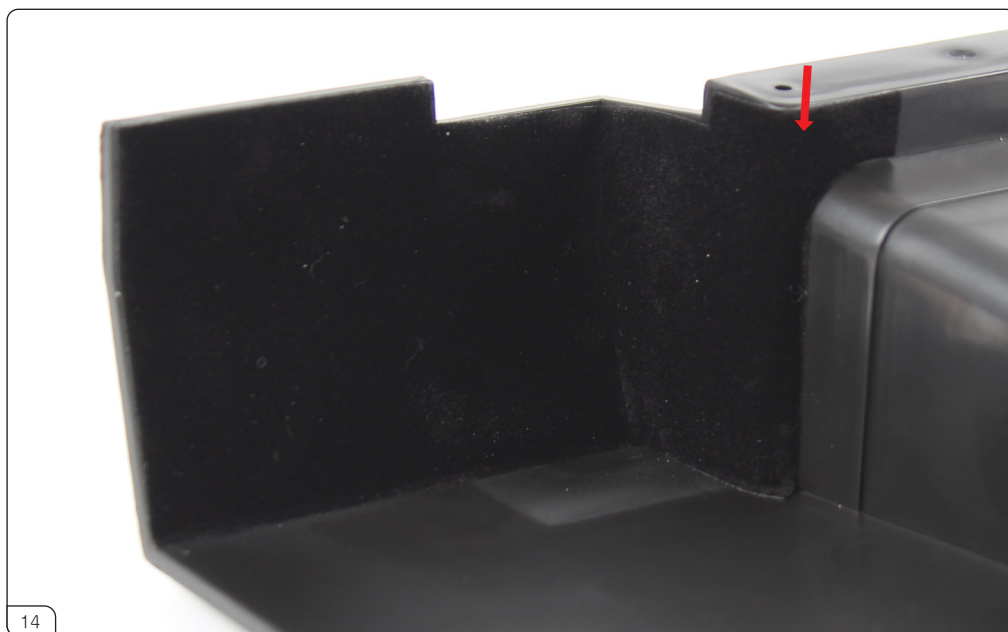
ステージ043●コックピット・フロアのディテールアップ



ピースAは上部をしっかりと揃えて貼っていきます。

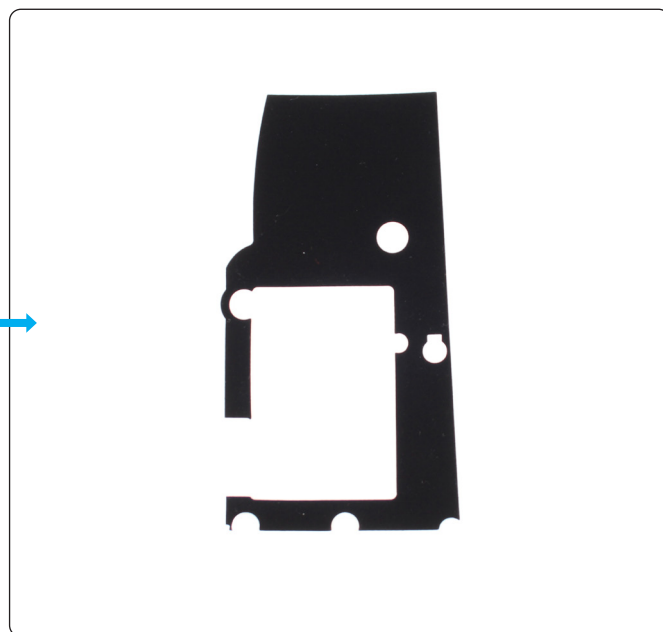


指で平らにならしながら貼っていきます。



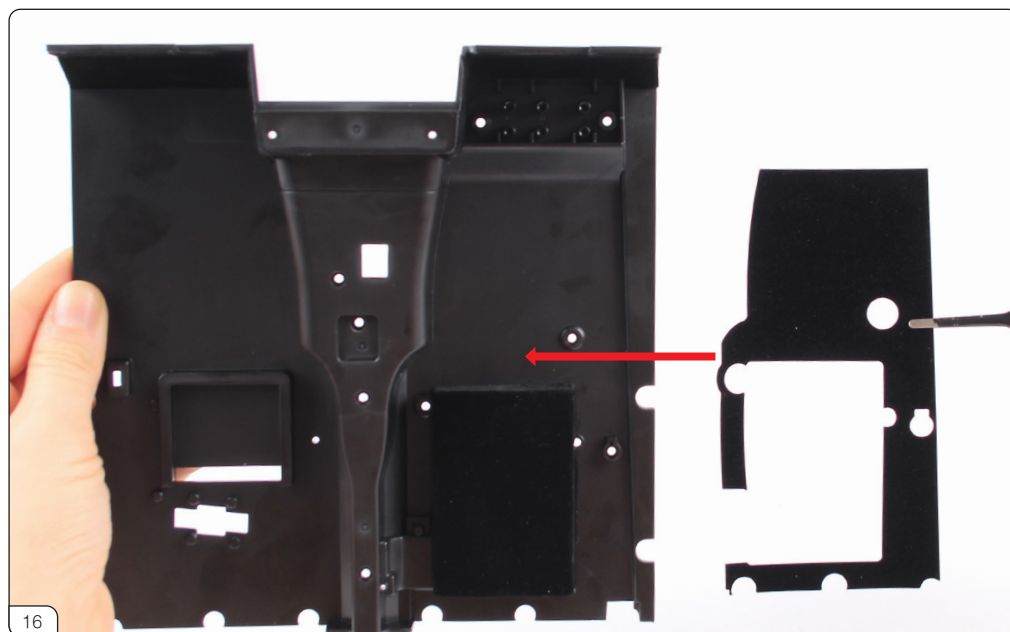
ピースAをフロアのカーブに巻きつけて固定します(赤矢印)。

ステージ043●コックピット・フロアのディテールアップ



次はカーペットステッカー4です。赤線部分は不要ですので切り取ってください。

不要部分が切り取られた状態です。

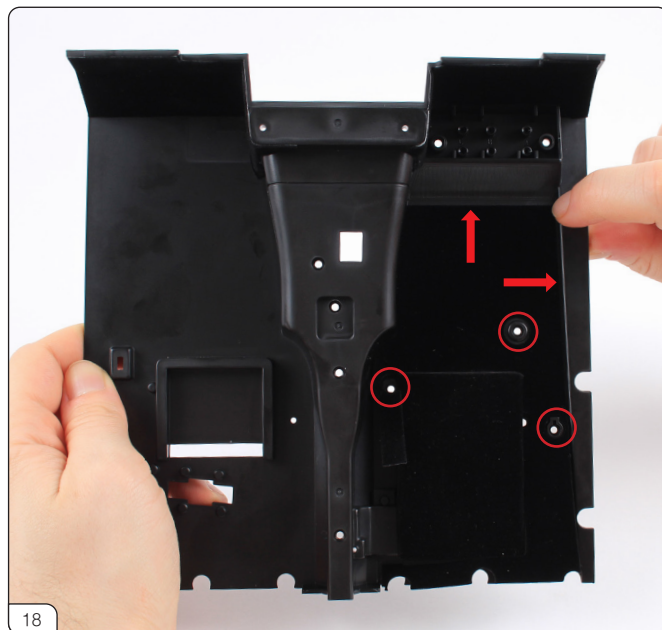


画像のように、ステッカー4をコックピットフロアに配置します。

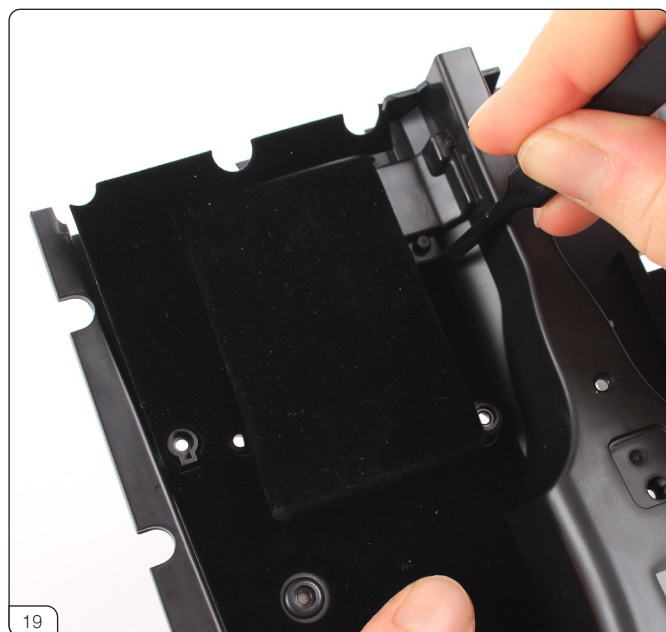
ステージ043 ● コックピット・フロアのディテールアップ



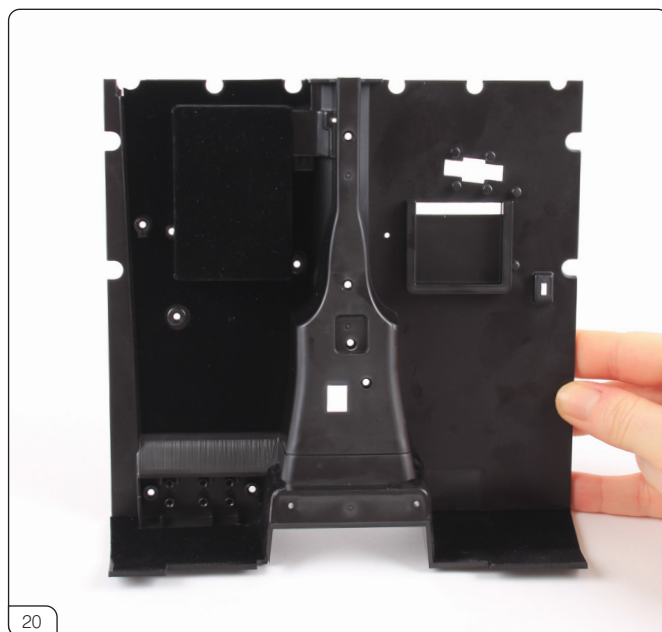
最初に赤矢印部分をはめ込むように決め、貼り付けていきます。工程18の位置決めに注意してゆっくりと作業しましょう。



外側の端をしっかりと合わせ（赤矢印）、ネジポスト（赤丸印）にステッカー4の穴を合わせます。

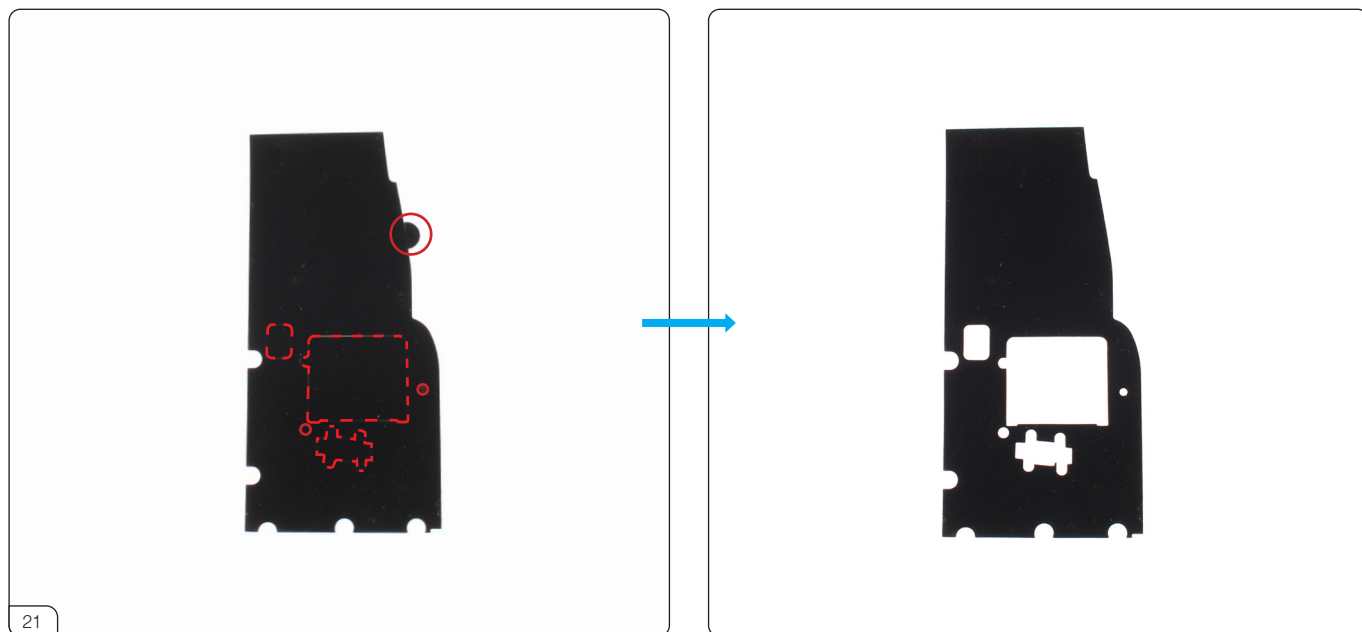


ステッカー4の残りの部分を床にしっかりと貼り込みます。

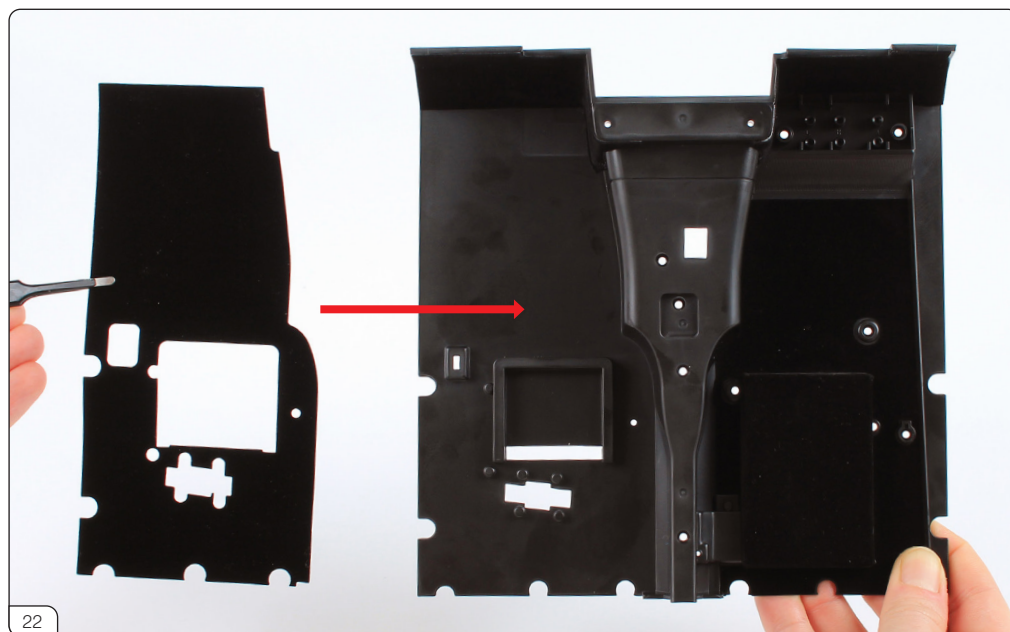


ステッカー4が貼り込まれた状態です。

ステージ043●コックピット・フロアのディテールアップ



続いてカーペットステッカー3です。赤線部分は不要ですので切り取ってください。 不要部分が切り取られた状態です。

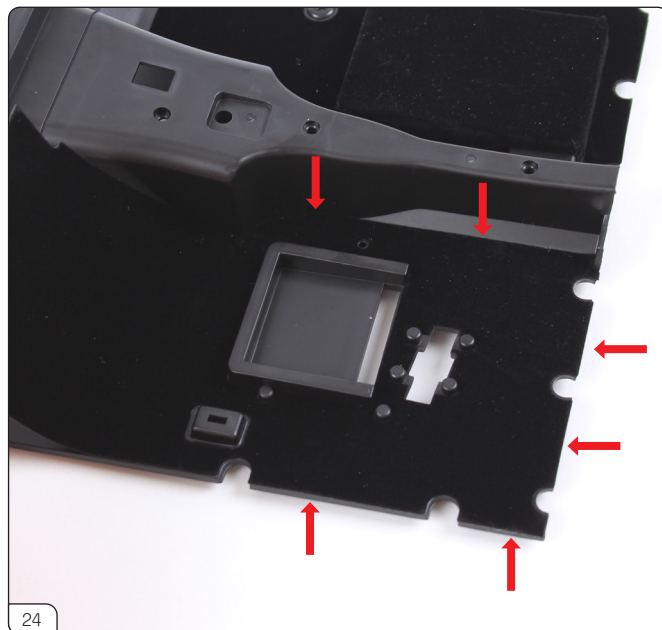


画像のように、カーペットステッカー3をコックピットフロアに配置します。

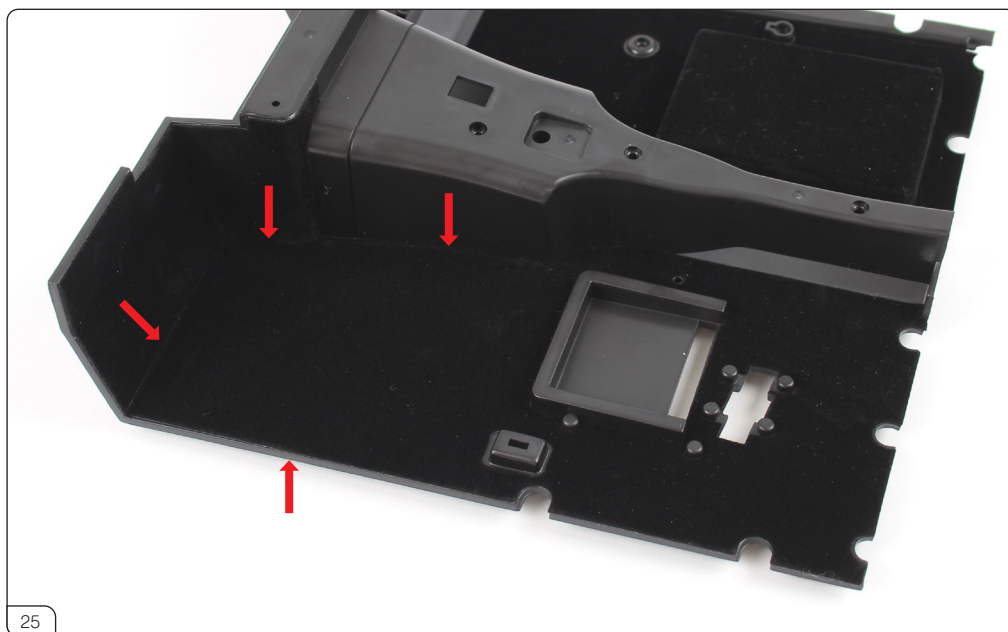
ステージ043●コックピット・フロアのディテールアップ



画像のように、カーペットステッカー3をコックピットフロアの対応する開口部にはめ込みます (赤丸印)。



カーペットステッカー3の端の部分も、コックピットフロアの開口部にしっかりと合わせます (赤矢印)。

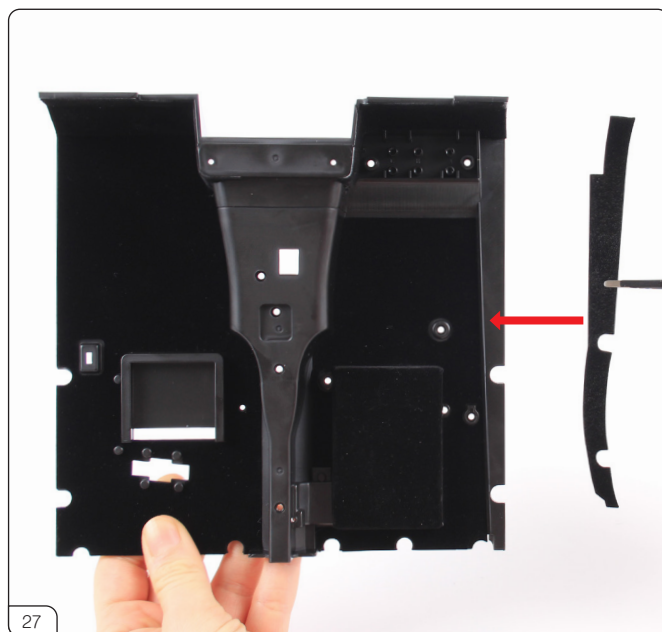


他の部分も、端を合わせてしっかりと押さえながら貼っていきます (赤矢印)。

ステージ043 ● コックピット・フロアのディテールアップ



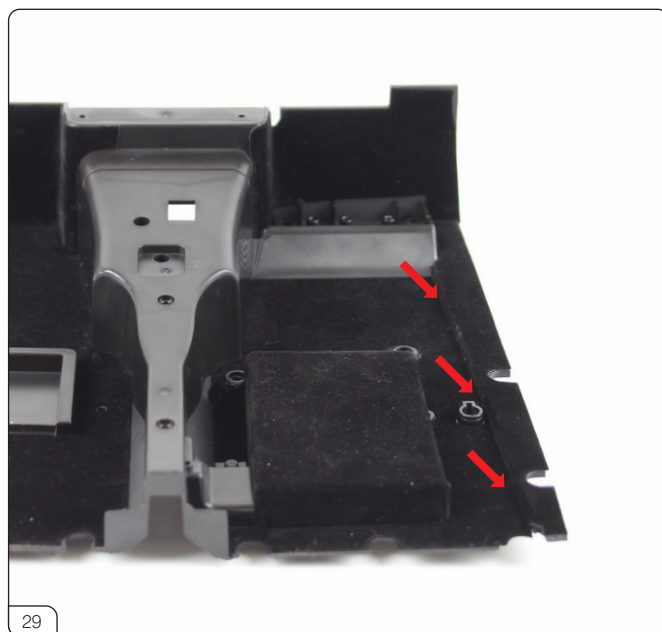
最後にカーペットステッカー2を貼り込みます。



最初にピースDをコックピットフロアの左端に合わせます。



外側の端を合わせて、貼り込んでいきます (赤矢印)。



画像のはみ出した部分 (赤矢印) もしっかりと押さえて貼り込みます。

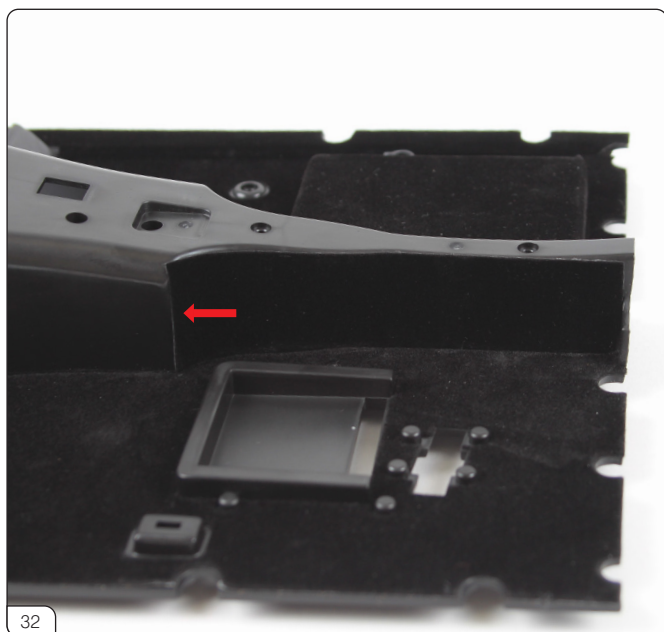
ステージ043●コックピット・フロアのディテールアップ



ピースCをトランスミッショントンネルの右側に合わせます。赤丸印の端が、青丸印の端より短くなっています。向きに注意して貼り込みます。



まず、短い端を押し込みに貼ります。

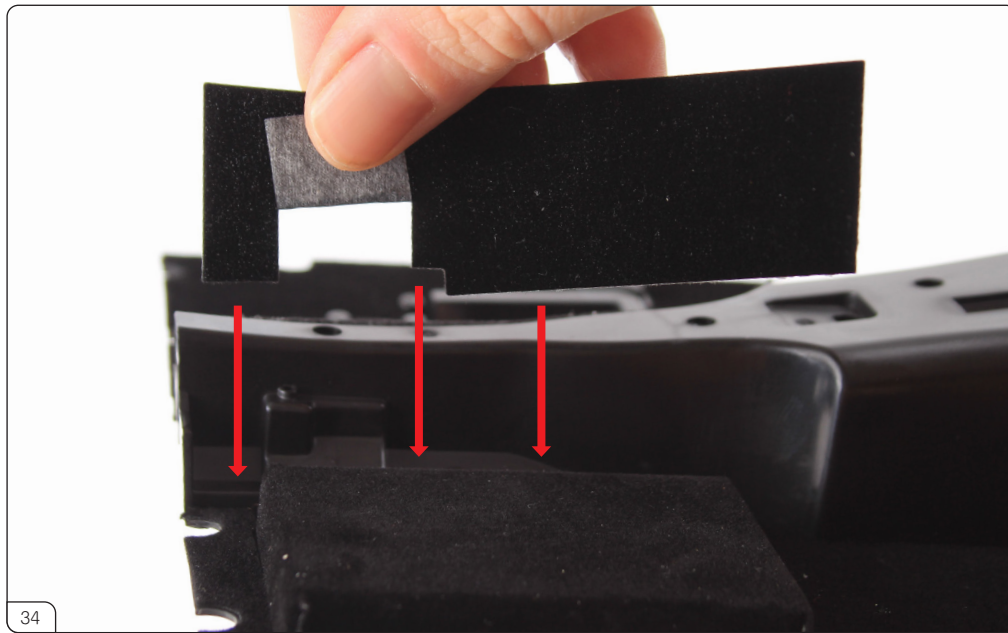


後方に押さえながら貼っていきます。端がずれないように注意しましょう。



続いてピースBをトランスミッショントンネルの反対側に合わせます。

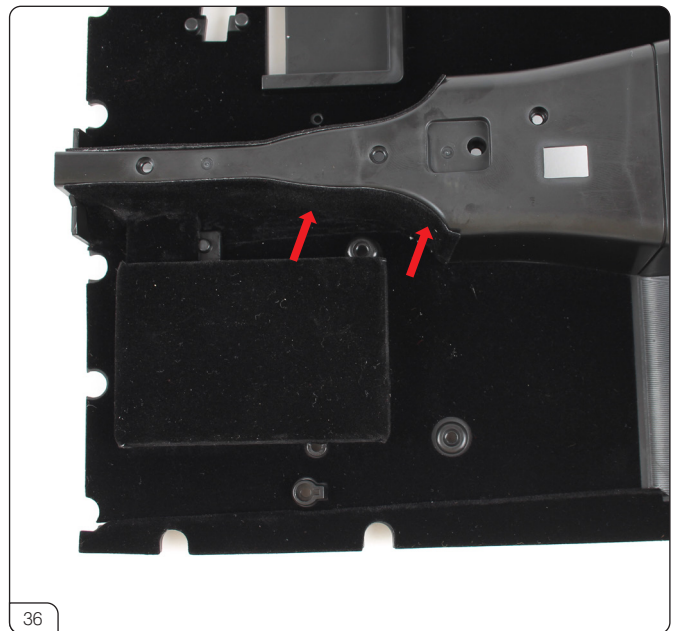
ステージ043●コックピット・フロアのディテールアップ



画像のようにピースBのフラップを持ち上げ、下端を貼り込みます。

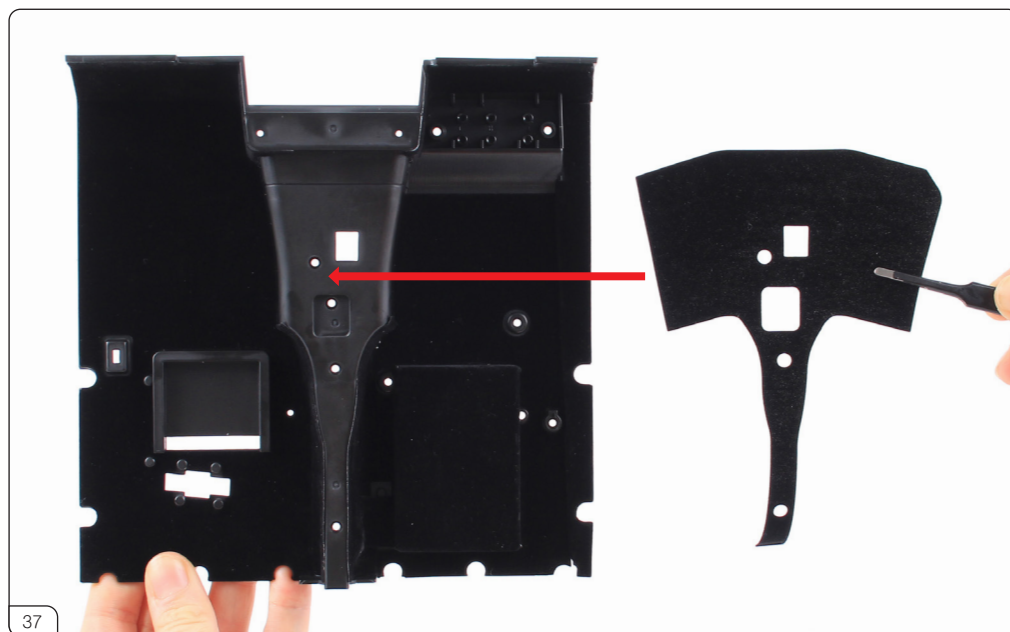


フラップをしっかりと押さえます。

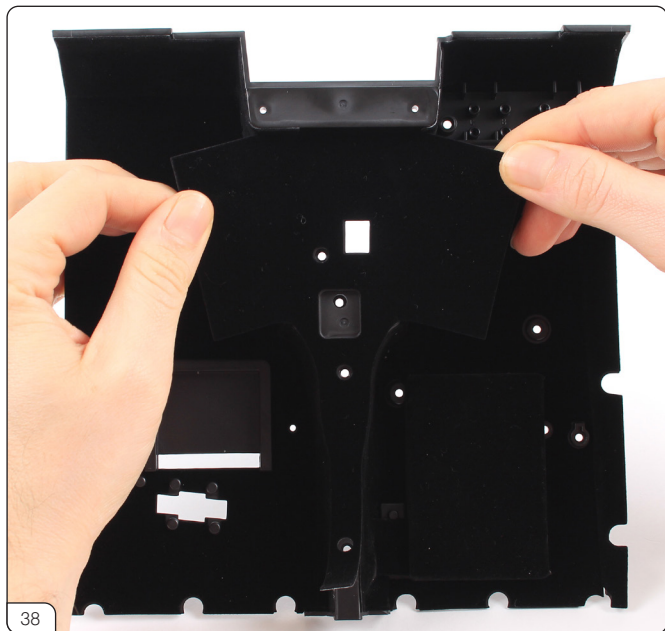


ステッカーの残りの部分をトランスミッショントンネルに貼り込みます。

ステージ043 ● コックピット・フロアのディテールアップ



最後にピースAです。余分な部分を切り取り、画像のようにトランスミッショントンネルに配置します。

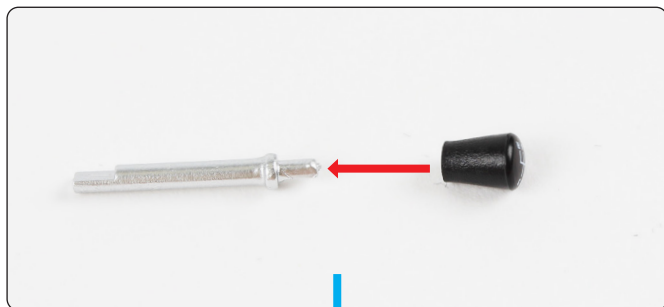


ステッカーの開口部をトランスミッショントンネルの開口部に合わせます。



先に貼り込んだカーペットステッカーの端に合わせて貼っていきます。合わせた後に、端の部分を指でブラッシングして接合面をなじませます。

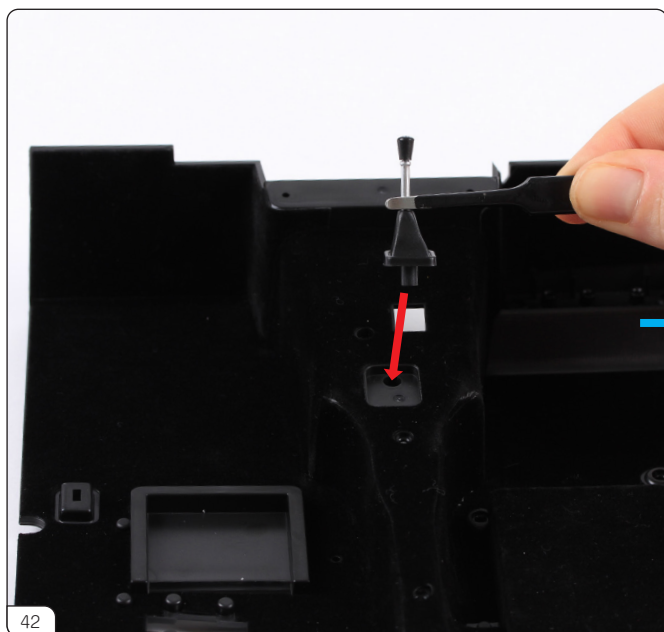
ステージ043●コックピット・フロアのディテールアップ



ギヤスティックノブ(43-G)をギヤスティック(43-F)の端に押し込みます。
ギヤスティックノブのマークは、強くこすると剥がれることがあります。注
意してください。



ギヤスティック (43-F)をギヤスティックカバー (43-E) にはめ込みます。



画像のように、ギヤスティックカバーをトランスミッショントンネル上部の
凹部にはめ込みます。

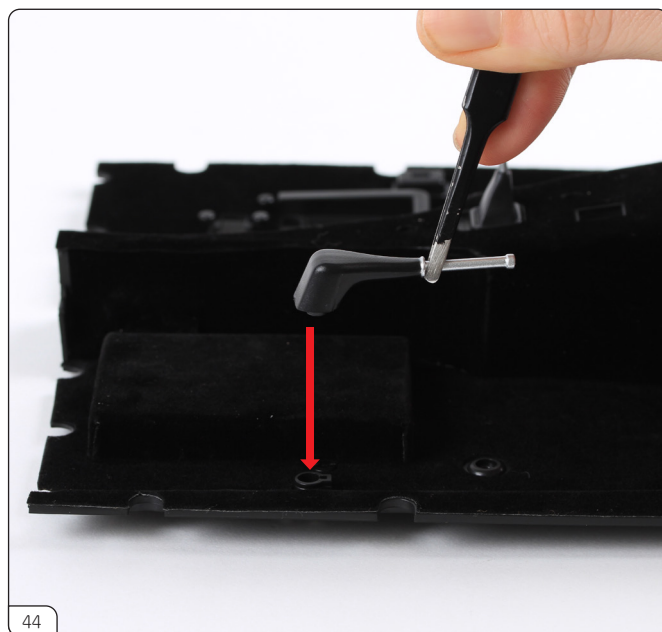


ギヤスティックカバーがはめ込まれた状態です。

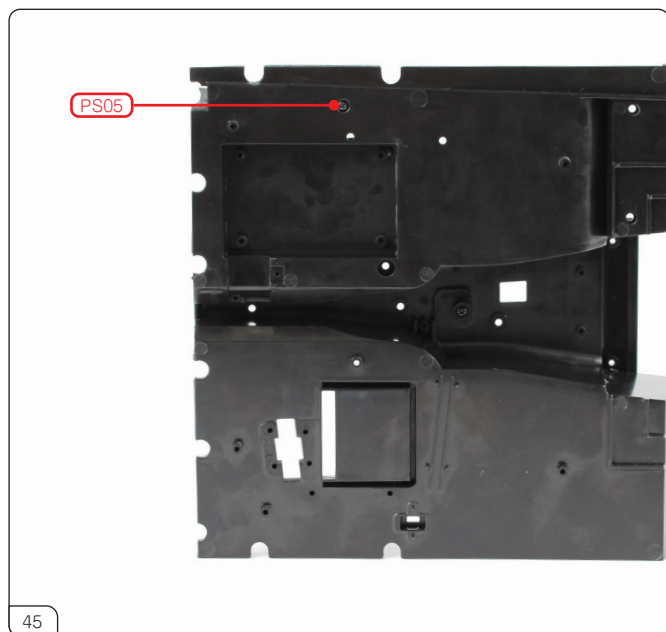
ステージ043●コックピット・フロアのディテールアップ



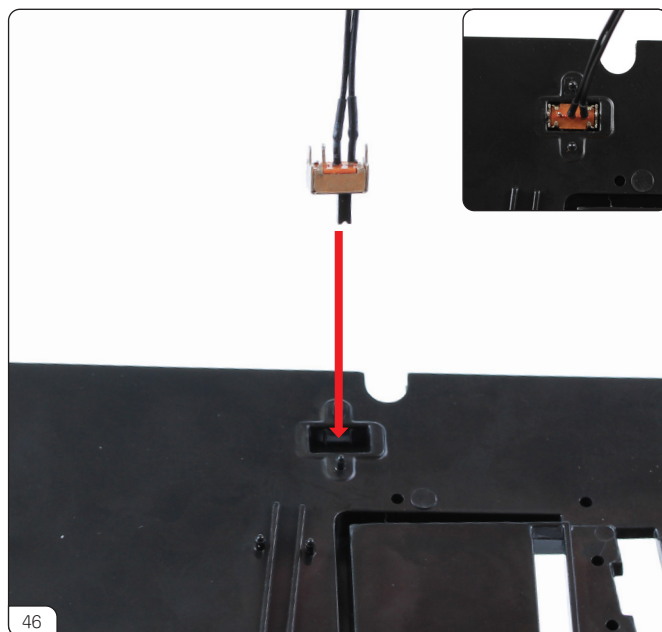
裏側からギヤスティックカバーをPS05ネジで固定します



ハンドブレーキ(43-D)をコックピットフロアの右側にある穴にはめ込みます。

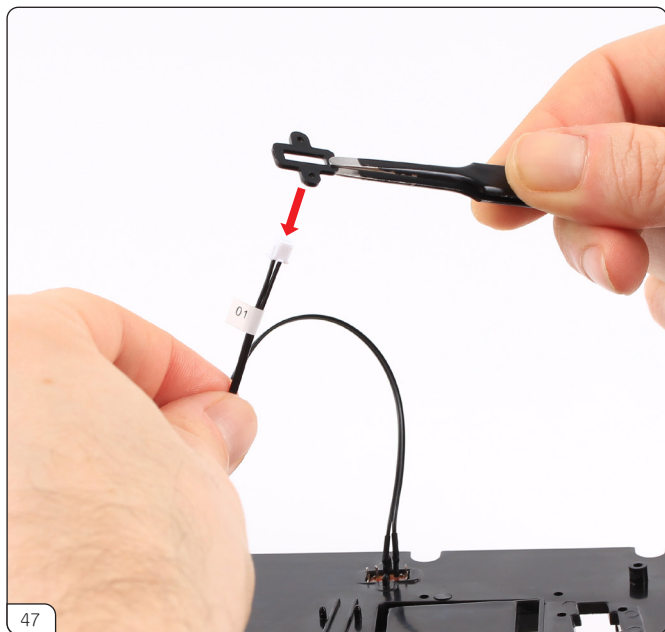


裏側からハンドブレーキをPS05ネジで固定します。

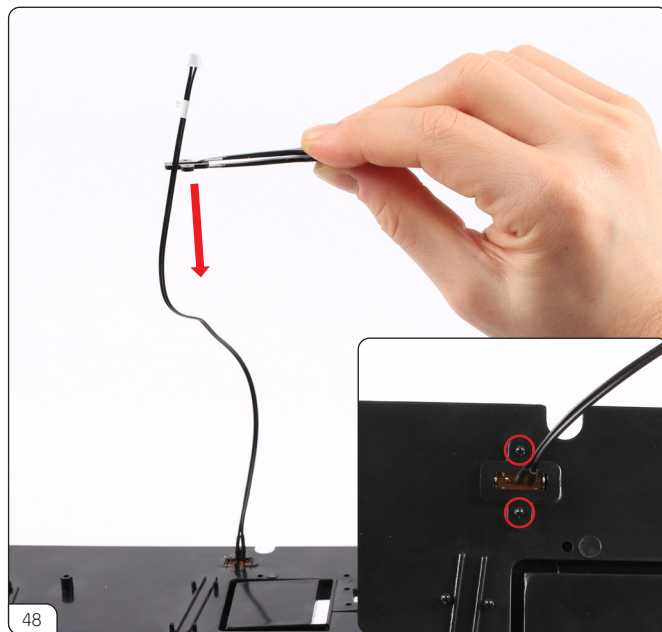


電源スイッチ(43-H)を、コックピットフロアの左側の長方形のくぼみにしっかりと押し込みます。

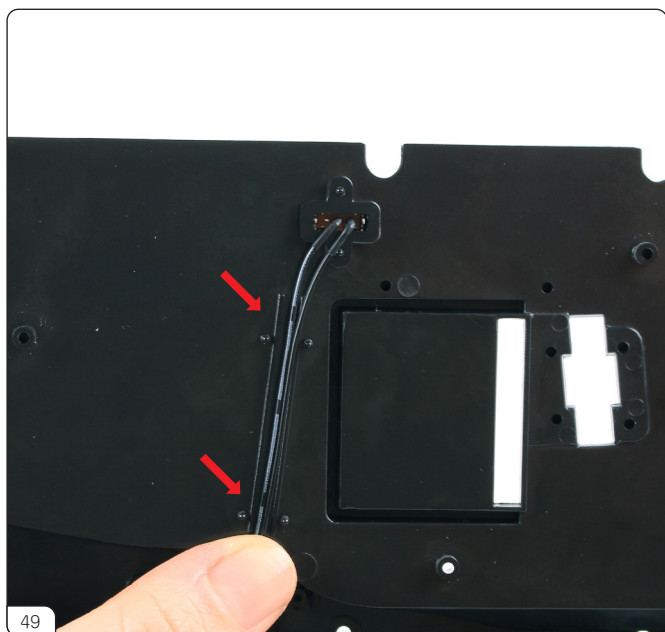
ステージ043●コックピット・フロアのディテールアップ



スイッチブラケット (43-B) を電源スイッチケーブルに通します。



スイッチブラケット(43-B) を、電源スイッチの横にある2本の突起 (右下小写真／赤丸印) にしっかりと押し込みます



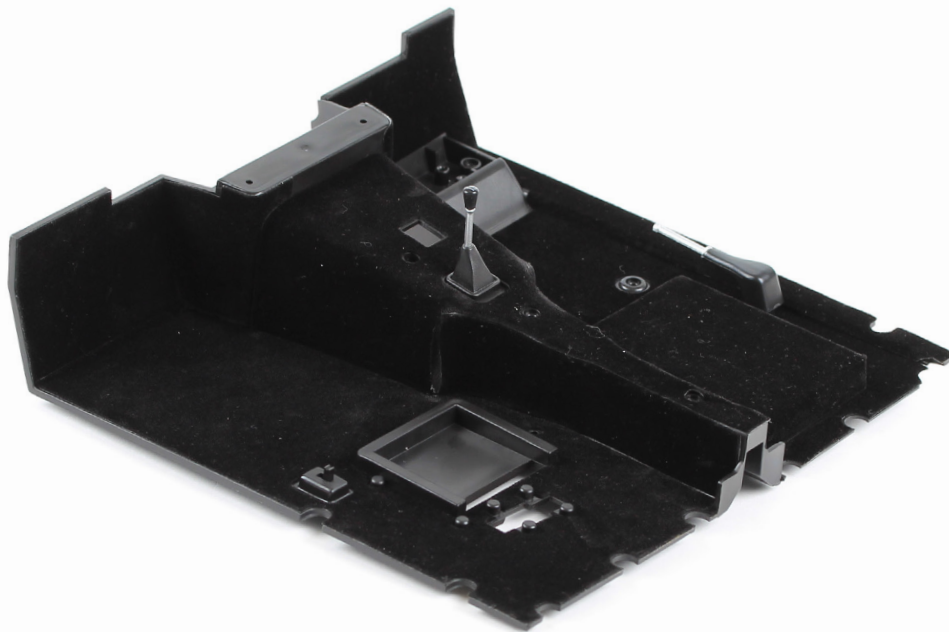
電源スイッチケーブルを画像のように配置します。



ワイヤーブラケット (43-C) を突起に合わせて押し込んで、電源スイッチケーブルを固定します。

ステージ043●コックピット・フロアのディテールアップ

ステージの完了



ステージ044●ガジェットコントロールパネルの組み立て

センターコンソールに組み込まれるガジェットコントロールパネルを組み立て、コックピットフロアに取り付けます。

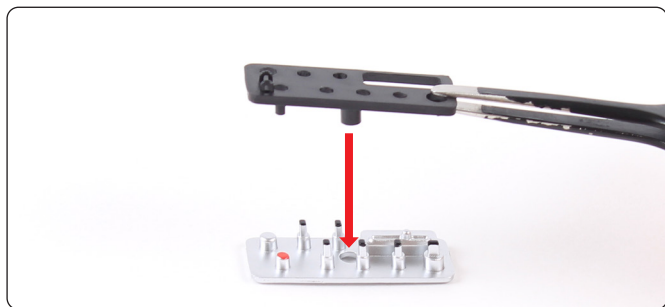


ステージ044パーツリスト

名称	名称
44-A センターコンソールハウジング	44-G ブレーキペダル
44-B センターコンソールリッド	44-H アクセルペダル
44-C ガジェットコントロール	44-I ヒンジ
44-D ガジェットパネルトリム	44-J 安全ボタンカバー
44-E ペダルトリム	PS05ネジ×5
44-F クラッチペダル	PS26ネジ×5

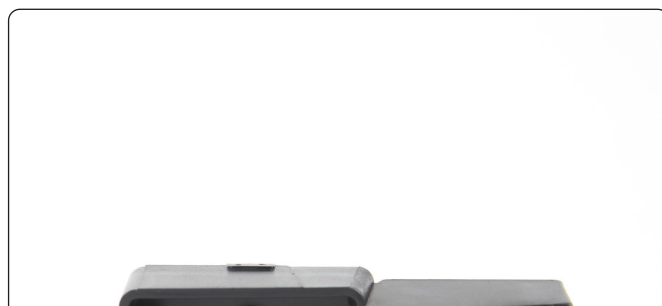


ステージ044●ガジェットコントロールパネルの組み立て



1
ガジェットパネルトリム(44-D)をガジェットコントロール(44-C)に取り付けます。さらに赤いボタンとその横にある2つのソケット (赤丸印) に、安全ボタンカバー(44-J)を取り付けます。

2
画像のように安全ボタンカバー(44-J)を、赤いボタンの横にある2つのソケットにはめ込みます (青矢印)。



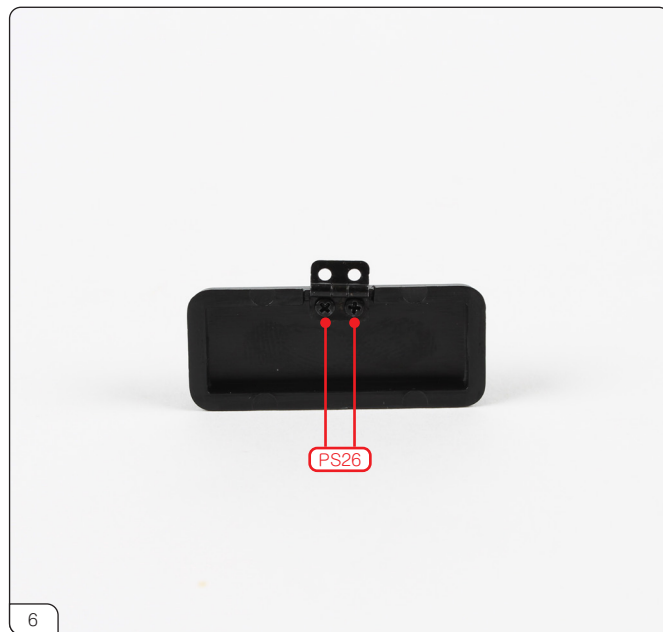
3
ガジェットパネルをセンターコンソールハウジング(44-A)にはめ込みます。

4
裏側からPS26ネジで固定します。

ステージ044●ガジェットコントロールパネルの組み立て



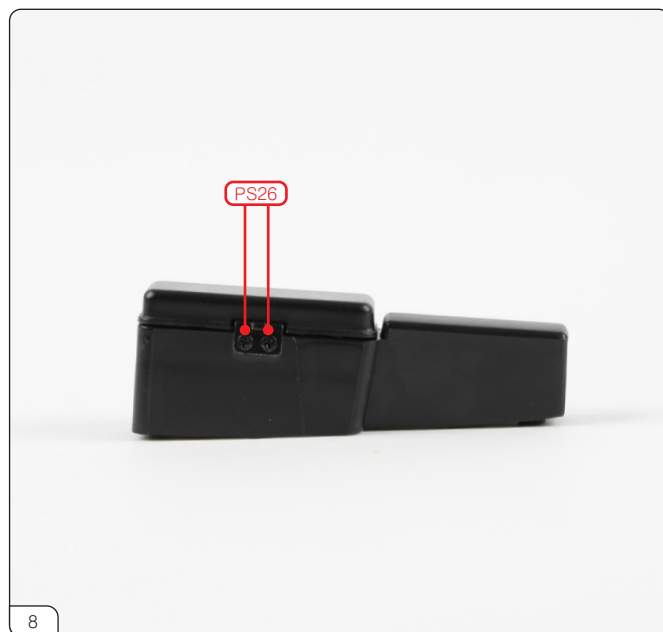
ヒンジ(44-I)をセンターコンソールリッド(44-B)に配置します。ヒンジの向きに注意してください(赤矢印)。



ヒンジをPS26ネジ2本で固定します。

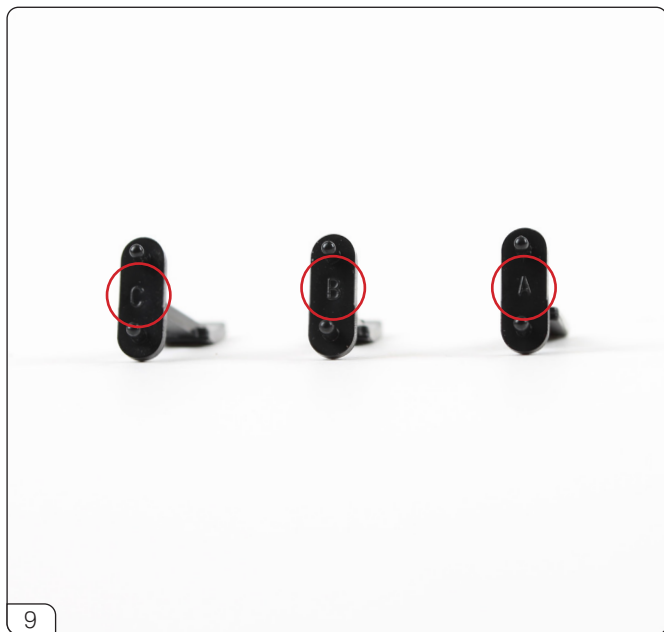


画像のように、ヒンジをセンターコンソールハウジング(44-A)側面の2つの穴にはめ込みます。

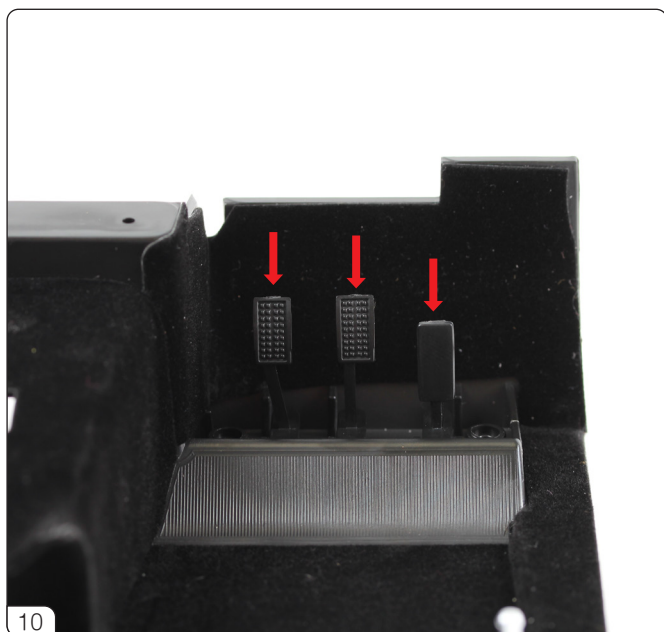
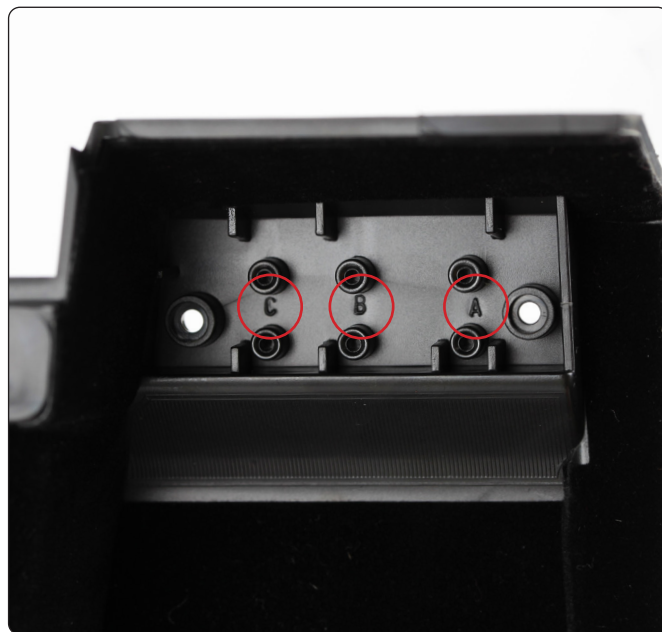


PS26ネジ2本で固定します。

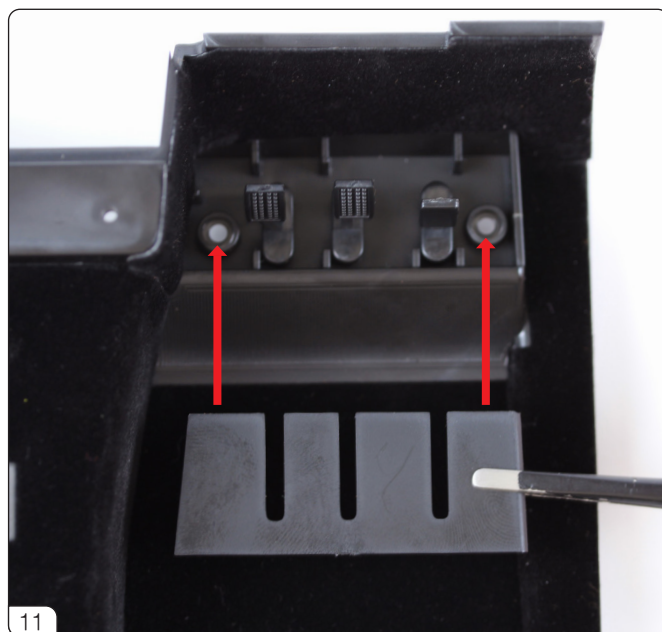
ステージ044●ガジェットコントロールパネルの組み立て



クラッチペダル (44-F)、ブレーキペダル (44-G)、アクセルペダル (44-H) の3つのペダルを取り付けます。それぞれ「A」「B」「C」が記されています。これを合わせて組み込んでください。



「A」「B」「C」に合わせて、3つのペダルをはめ込みます。

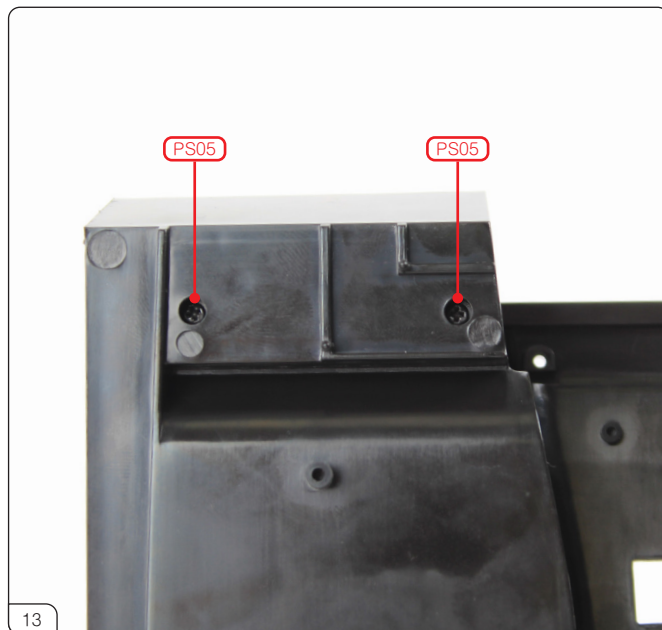


画像のように、ペダルトリム (44-E) を配置します。

ステージ044●ガジェットコントロールパネルの組み立て



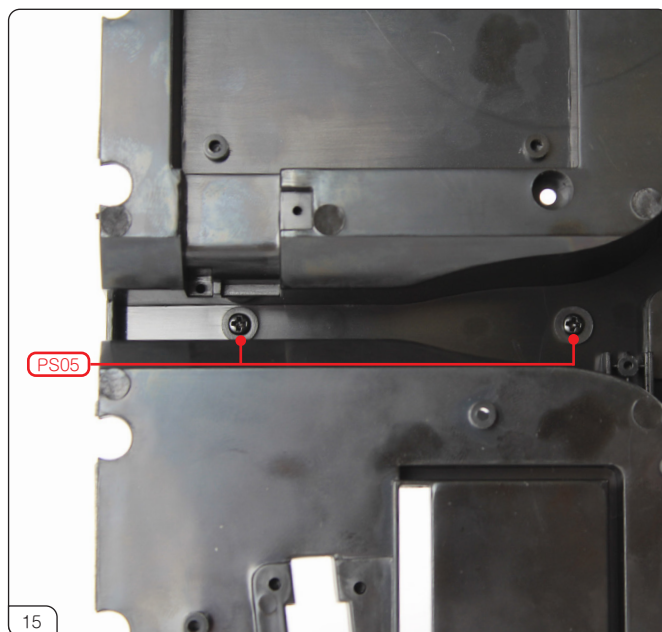
ペダルトリム (44-E) をはめ込みます。



裏側からPS05ネジ2本で固定します。



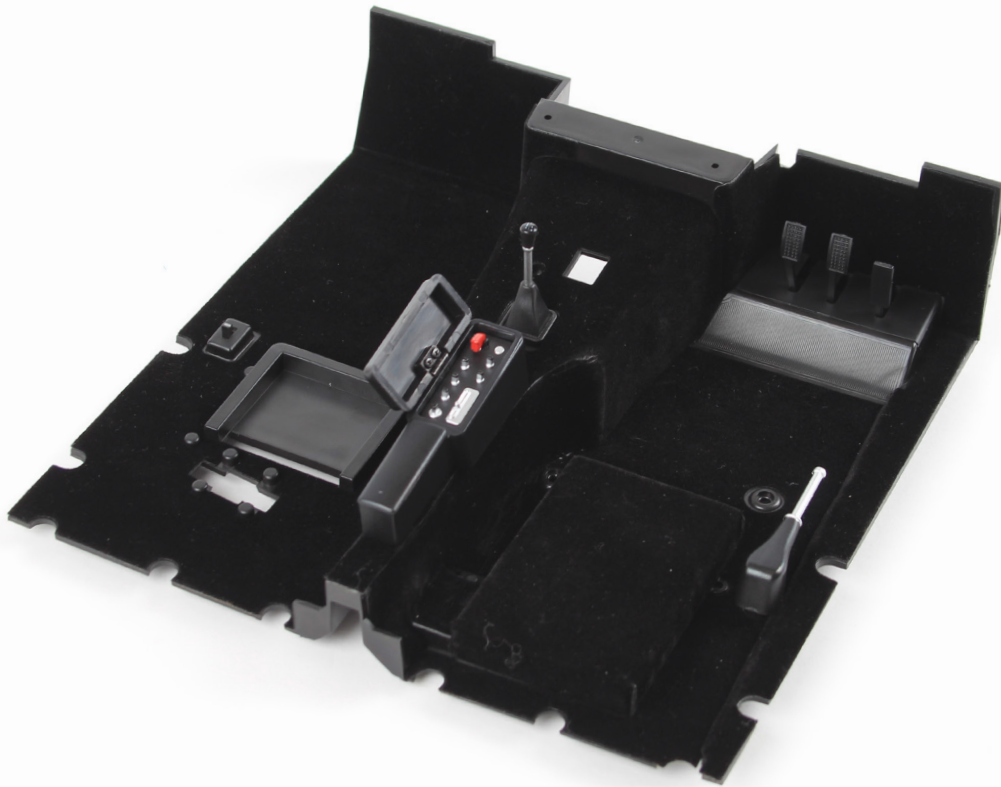
センターコンソールをトランスミッショントンネルに合わせてはめ込みます。組み立ての際に蓋が傷つかないように、テープで固定しておきましょう。



裏側からPS05ネジ2本で固定します。

ステージ044●ガジェットコントロールパネルの組み立て

ステージの完了



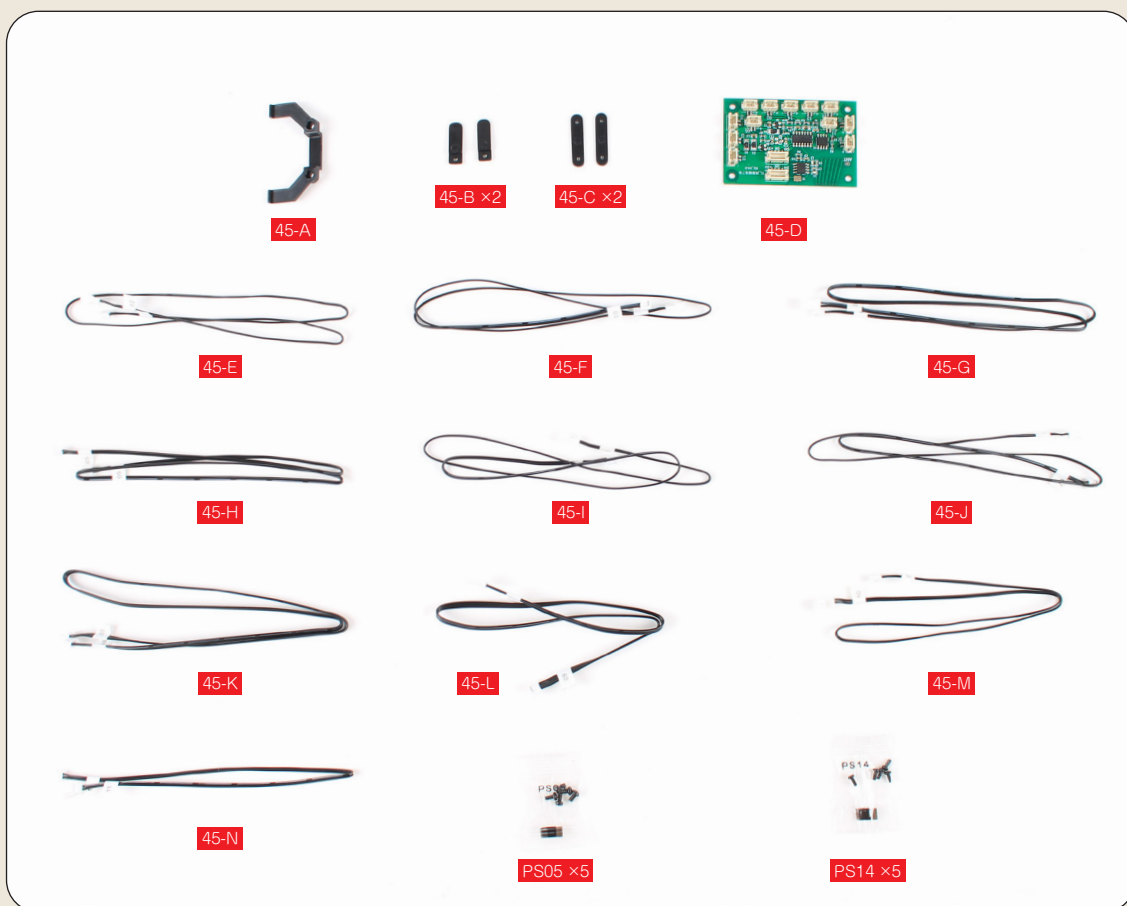
ステージ045●回路基板とケーブルの取り付け

各種ギミックをコントロールする回路基板（サーキットボード）をコックピットフロアアッセンブリーに取り付け、ケーブルを接続します。

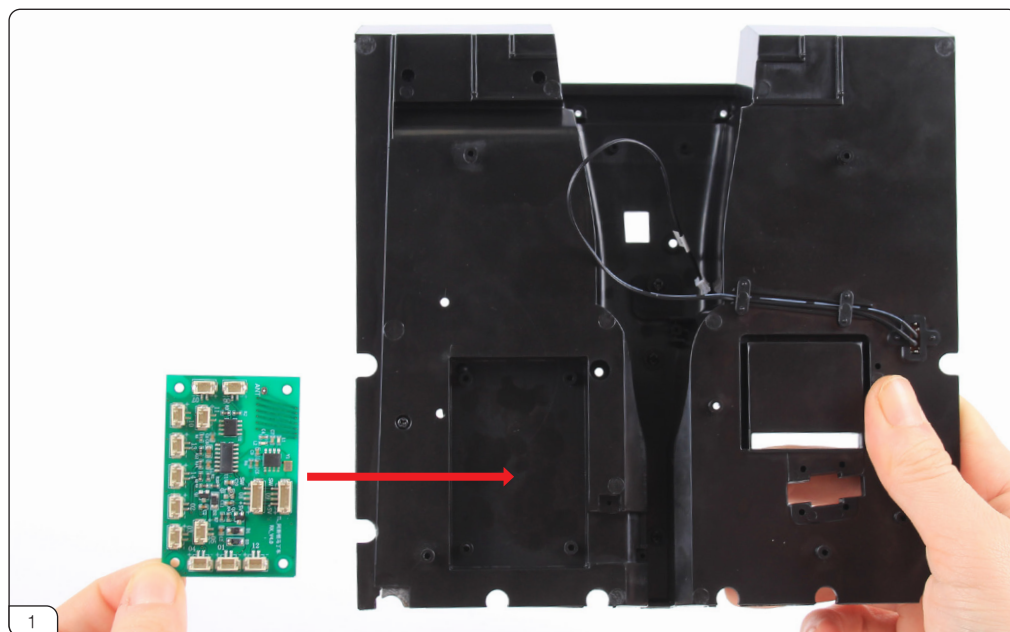


ステージ045パーツリスト

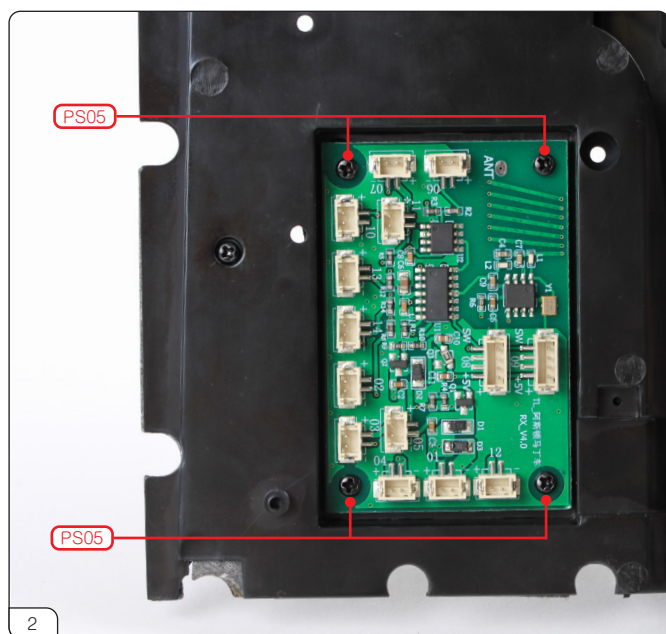
名称	名称
45-A メインワイヤーブラケット	45-I 左マシンガンモーター LED 06
45-B トンネルワイヤーブラケット ×2	45-J 右マシンガンモーターLED 07
45-C チャンネルワイヤーブラケット ×2	45-K フロントナンバープレートケーブル 08
45-D 回路基板（サーキットボー）	45-L リアナンバープレートケーブル 09
45-E フロント左ライトケーブル 02	45-M スピーカーケーブル 10
45-F フロント右ライトケーブル 03	45-N 計器盤ケーブル 11
45-G 左マシンガンモーターケーブル 04	PS05ネジ×5
45-H 右マシンガンモーターケーブル 05	PS14 ネジ ×5



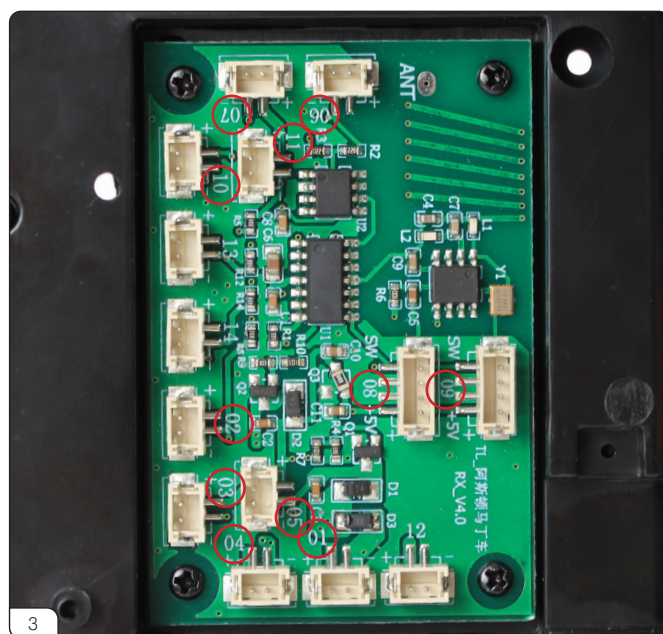
ステージ045 ● 回路基板とケーブルの取り付け



回路基板(45-D)をステージ044で組み立てたコックピットフロアアセンブリーに配置します (赤矢印)。

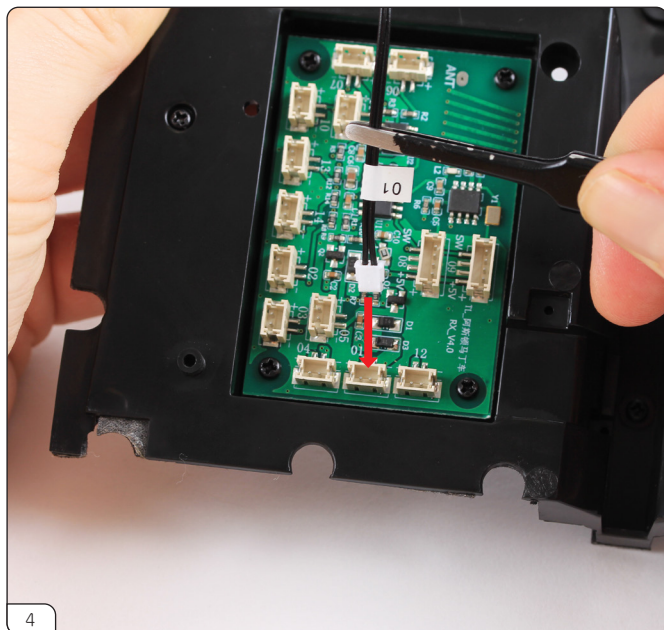


PS05ネジ4本で固定します。

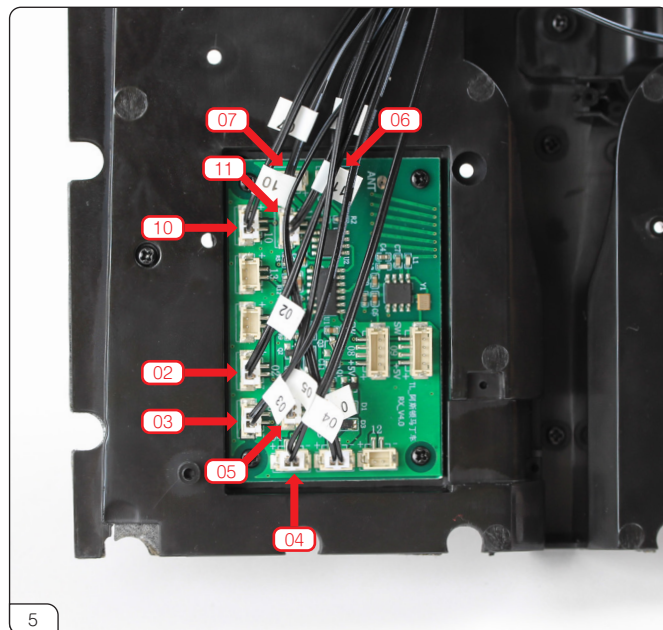


回路基板のソケットには、接続するケーブルのラベル番号に対応する数字が記されています (赤丸印)。

ステージ045 ● 回路基板とケーブルの取り付け



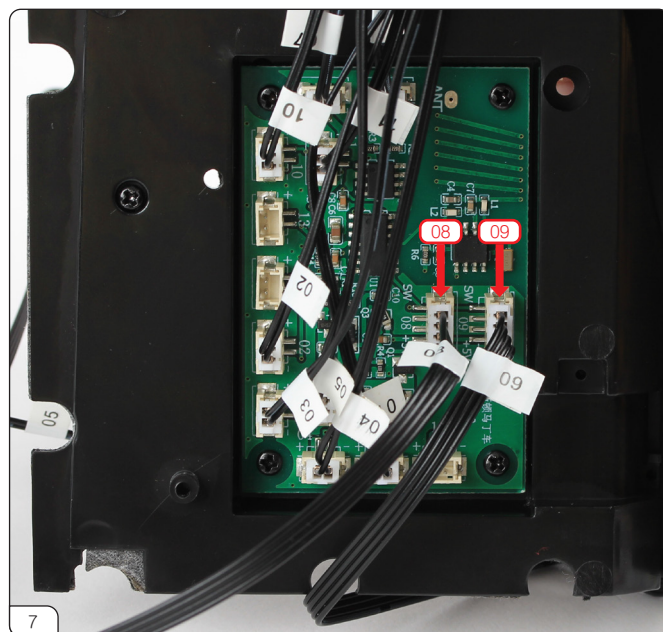
043ステージで取り付けた、ケーブルに「01」表示の付いた電源スイッチ (43-H)のコンネクターをソケット01に差し込みます。コンネクターの向きに注意してください。



45-Eから45-Nまで。すべてのケーブルの2ピンコンネクターを対応するソケットに差し込みます。



次に4ピンコンネクターの接続です。フロントナンバープレートケーブル (45-K／08)とリアナンバープレートケーブル (45-L／09)の両端にある4ピンコンネクターはよく似ています。回路基板に差し込むには、丸い穴のあいたコンネクターです (赤丸印)。

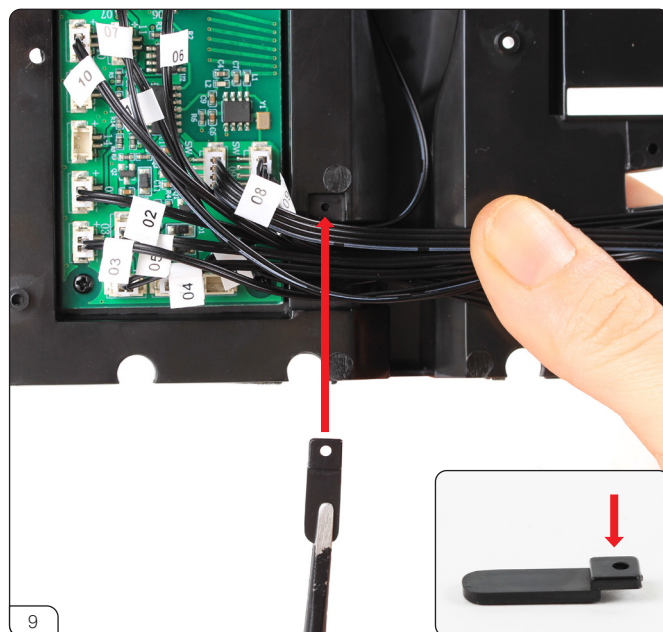


2本のケーブルの4ピンコンネクターを、それぞれ対応する08と09のソケットに差し込みます。

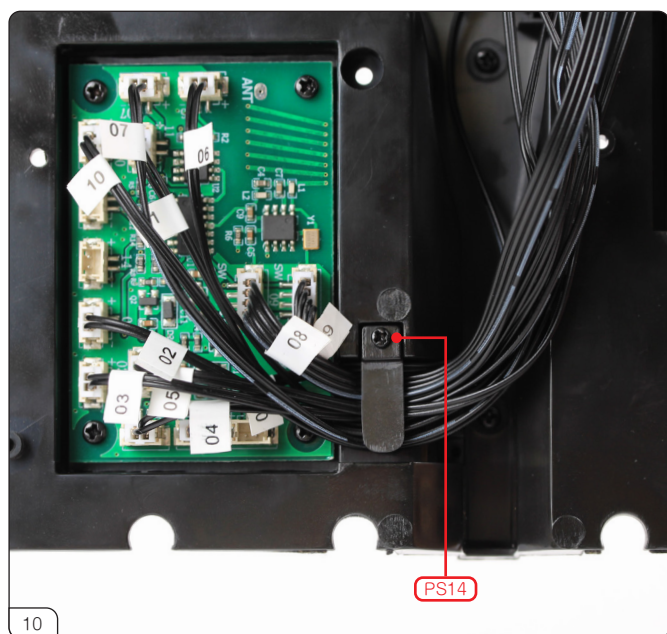
ステージ045 ● 回路基板とケーブルの取り付け



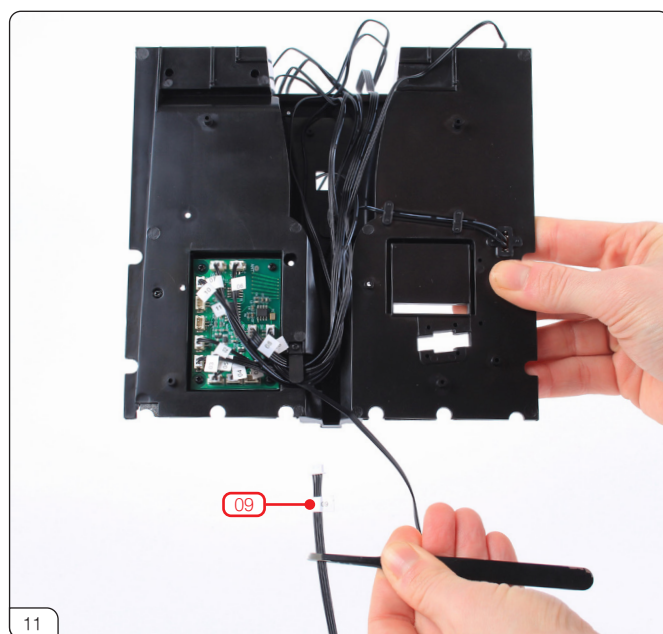
画像のように、ケーブルをまとめて凹みに入れます。



画像のように、トンネルワイヤーブラケット (45-B) をケーブルとネジ穴の上に被せるように配置します。トンネルワイヤーブラケットはタブが上になるようにセットしてください(右下小写真)。

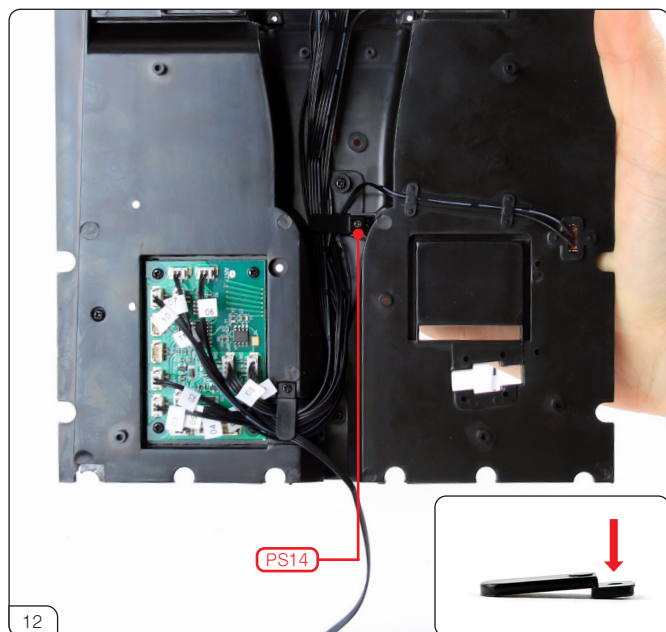


トンネルワイヤーブラケット (45-B) をPS14ネジで固定します。

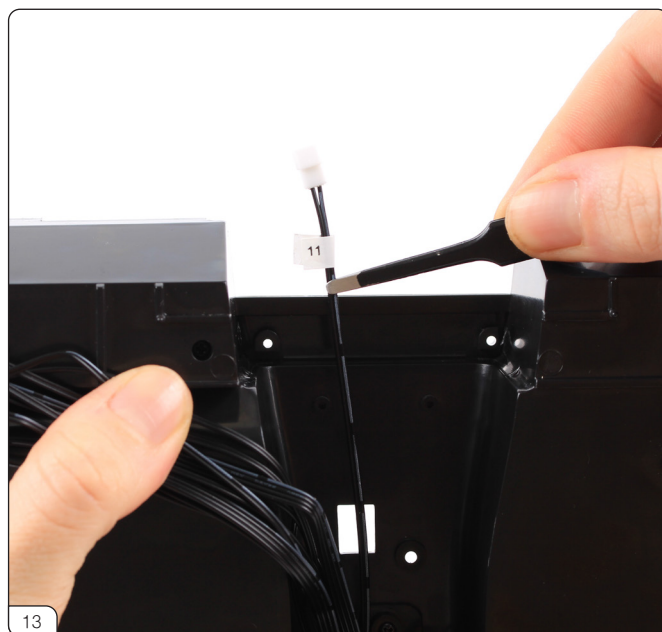


画像のように、ケーブル09をトランスミッショントンネルの後方へ導きます。

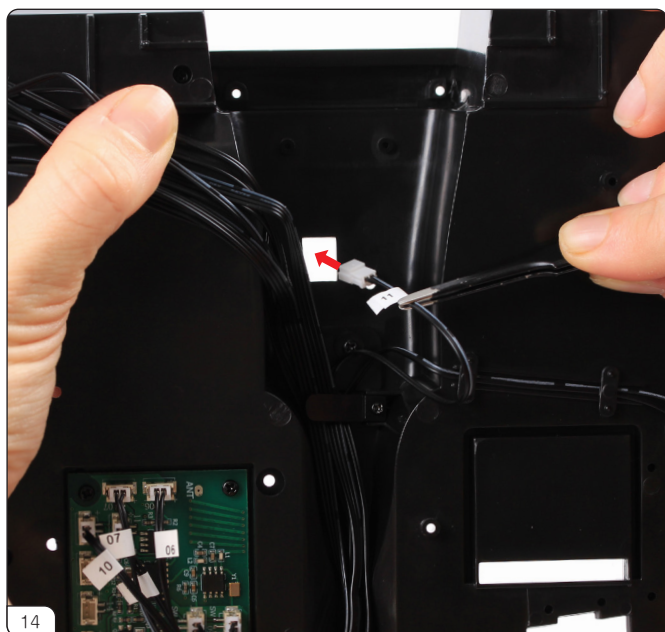
ステージ045 ● 回路基板とケーブルの取り付け



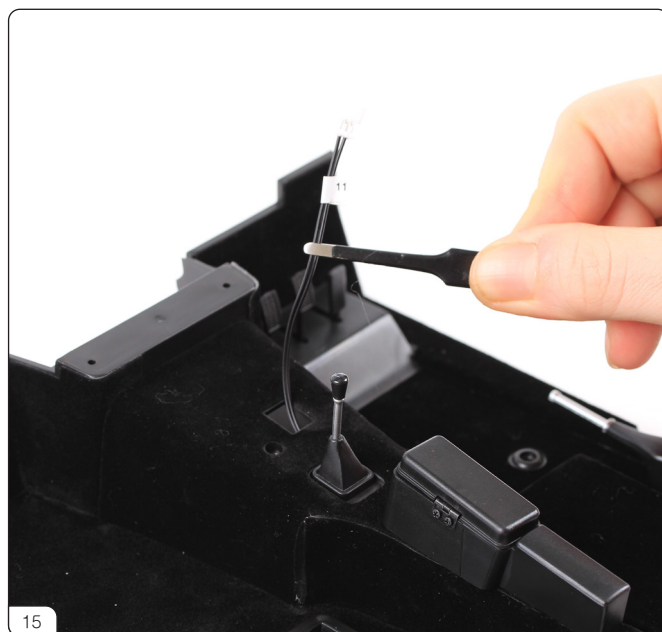
もう一つのトンネルワイヤーブラケット (45-B) をトランスミッショントンネルの真ん中にPS14ネジで固定します (トンネルワイヤーブラケットの向きは右下小写真参照)。



ケーブル11をピンセットでつまみます。



ケーブル11のコンネクターを、トランスミッショントンネルの長方形の開口部に通します。

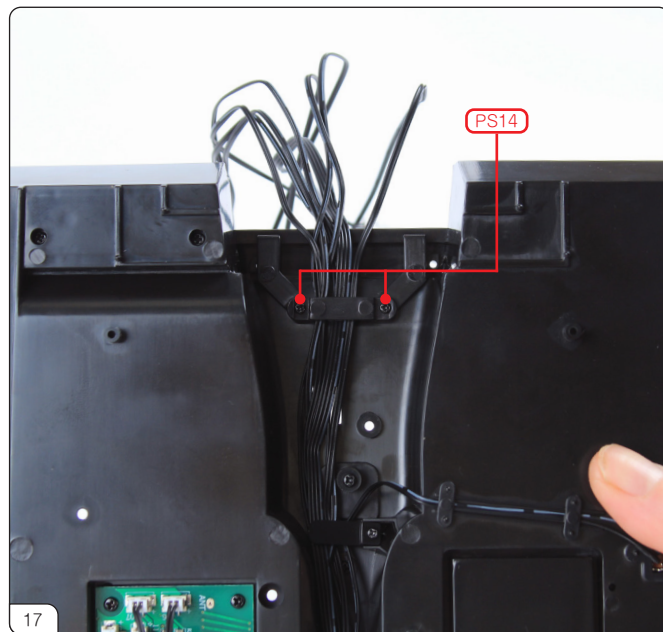


反対側からワイヤーを引き出します。

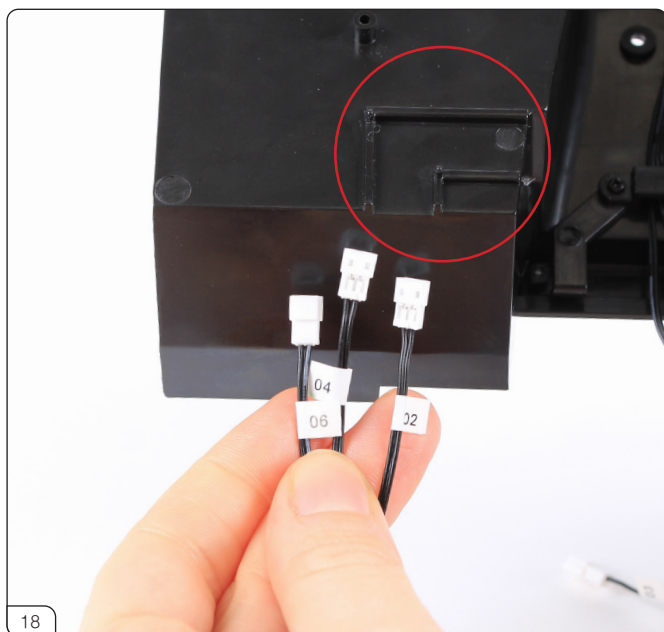
ステージ045 ● 回路基板とケーブルの取り付け



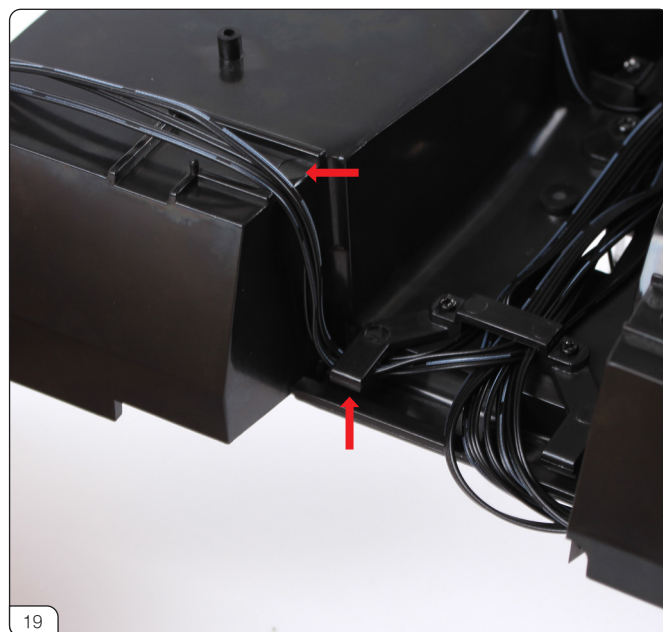
画像のように、メインワイヤーブラケット(45-A)をネジ穴に合わせます。ケーブルをネジ穴の間に集めてください。



メインワイヤーブラケット(45-A)をケーブルに被せ、PS14ネジ2本で固定します。



アッセンブリーを手前に向け、ケーブル02・04・06を引き回します。3本のケーブルは、左側の溝(赤丸印)にはめ込みます。

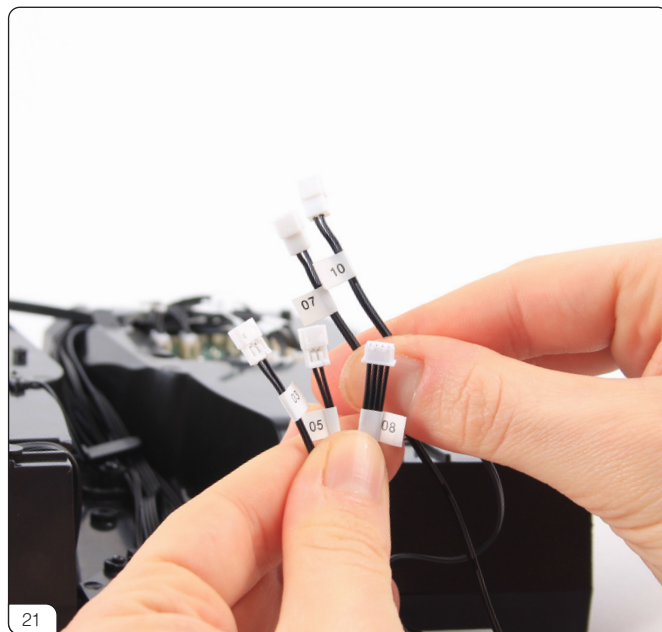


画像のように、メインワイヤーブラケット(45-A)の下にケーブルを引っ掛け、左側の溝に導きます。

ステージ045 ● 回路基板とケーブルの取り付け



チャンネルワイヤーブラケット (45-C) を使って、ケーブルを固定します。



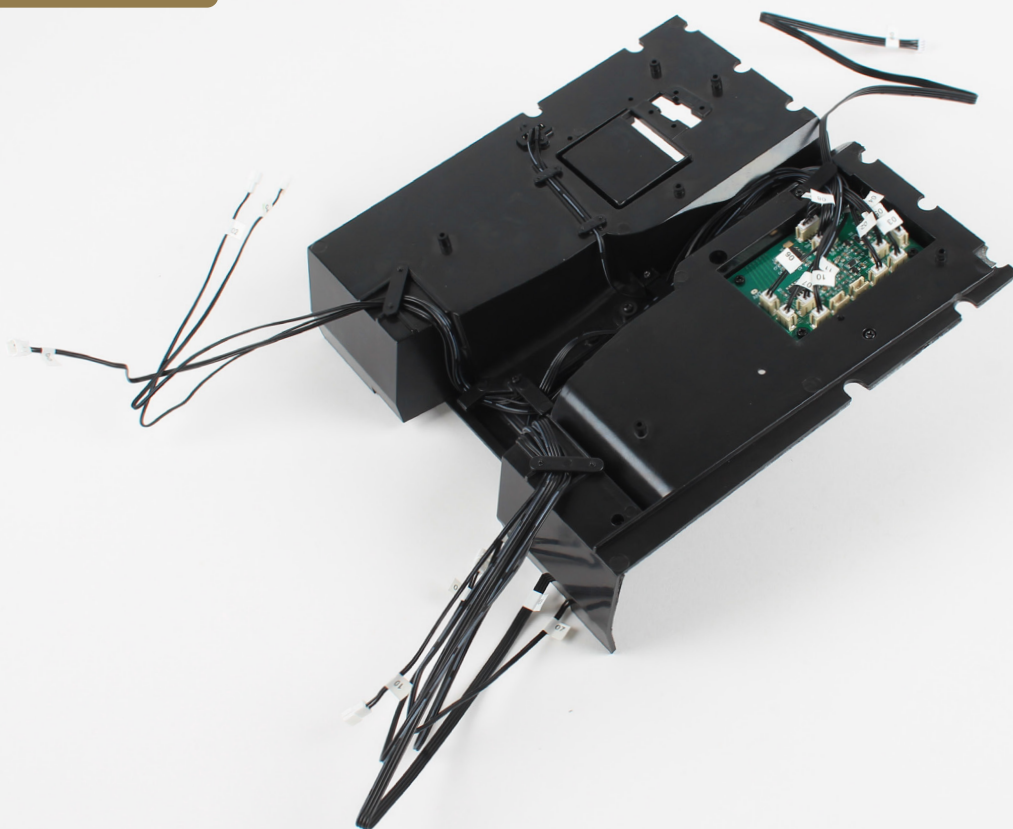
残りのワイヤー03・05・07・08・10を引き回します。



工程19・20と同じ手順で右側の溝にケーブルを導き、チャンネルワイヤーブラケット(45-C)で固定します。

ステー045●回路基板とケーブルの取り付け

ステージの完了



ステージ046●ドライバースシートの組み立て 1

ドライバースシートの座面、ドライバースシートベースを組み立てます。



ステージ046パーツリスト

名称
46-A ドライバースシートベース
46-B ドライバースシートカバー
46-C ドライバースシートクッション
46-D シート調整レバー
46-E シート調節ハンドル
PS12ネジ×2



46-A



46-B



46-C



46-D

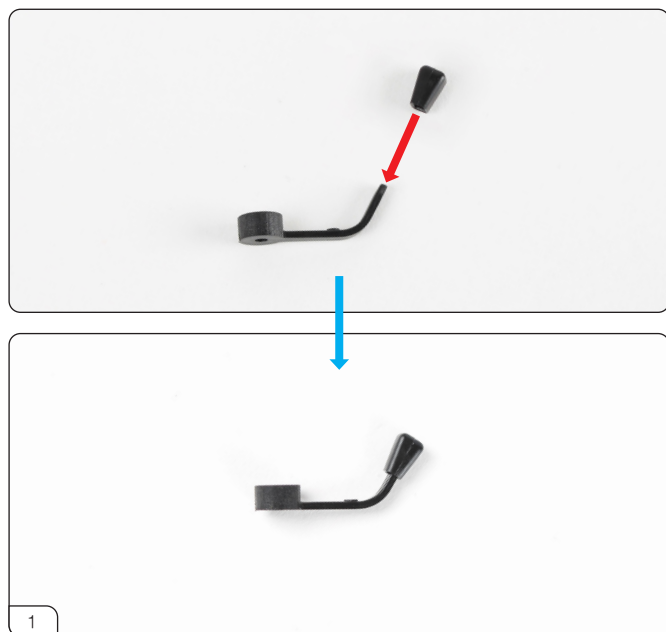


46-E



PS12 x2

ステージ046 ● ドライバースシートを組み立て 1



シート調節ハンドル (46-E) をシート調節レバー (46-D) に取り付けます。



アッセンブリーをドライバースシートベース(46-A)の裏にあるネジ穴に合わせます。



PS12ネジで固定します。



ドライバースシートベース(46-A)を裏返して、ドライバースシートクッション (46-C) をはめ込みます。

ステージ046●ドライバースシートの組み立て 1



ドライバースシートカバー(46-B)をドライバースシートベース(46-A)に取り付けます。



ドライバースシートベース(46-A)のプラグが、ドライバースシートカバー(46-B)の穴にはめ込まれます。



はめ込まれた状態です。

ステージ046●ドライバースシートの組み立て 1

ステージの完了



ステージ047 ● ドライバースートの組み立て 2

ステージ046に続いてドライバースートを組み立て、コックピットに取り付けます。

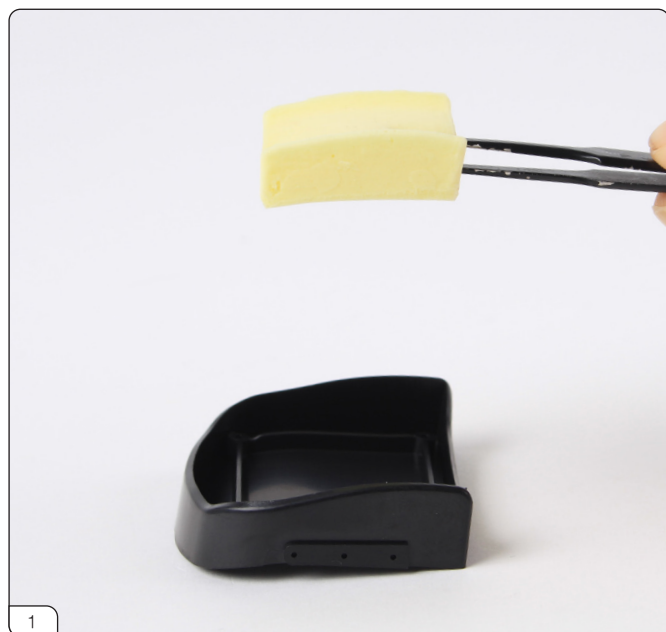


ステージ047 パーツリスト

名称	名称
47-A ドライバースートバックレスト	47-G シートブラケット (R1)
47-B ドライバースートバックレストカバー	47-H バックレストアジャスター
47-C バックレストクッション	PS01ネジ ×3
47-D バックレストブラケット (R1)	PS05ネジ ×3
47-E バックレストブラケット (R2)	PS21ネジ ×5
47-F シートブラケット (R2)	PS36ネジ ×3



ステージ047 ● ドライバースシートの組み立て 2



ドライバースシートバックレスト(47-A)に、バックレストクッション(47-C)を組み込みます。



バックレストクッション(47-C)上部のカーブが、ドライバースシートバックレスト(47-A)上部と平行になつようにはめ込みます (赤破線)。



ドライバースシートバックレストカバー(47-B)を、ドライバースシートバックレスト(47-A)に合わせます。



ドライバースシートバックレストカバー(47-B)をはめ込みます。

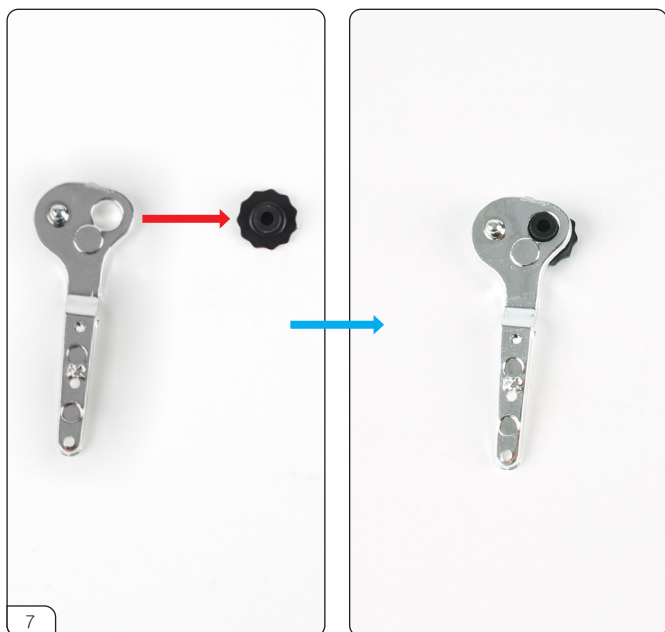
ステージ047 ●ドライバーズシートの組み立て 2



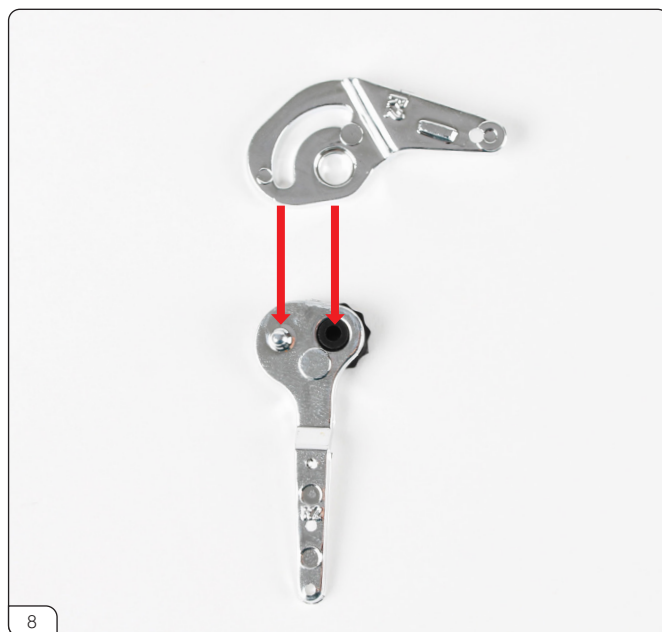
ドライバーズシートバックレストカバー(47-B)がはめ込まれた状態です。
プラグ部分が開口部にしっかりとめ込まれています。



「R2」と記されたバックレストブラケット (47-E) とシートブラケット (47-F) を組み上げます。

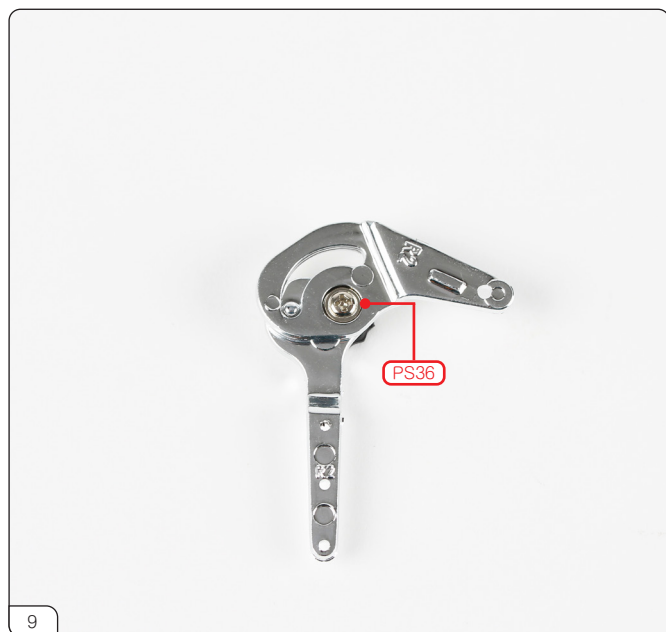


シートブラケット (47-F) を、バックレストアジャスター(47-H)のねじ穴に
合わせてはめ込みます。



バックレストブラケット (47-E) を画像のように合わせます。

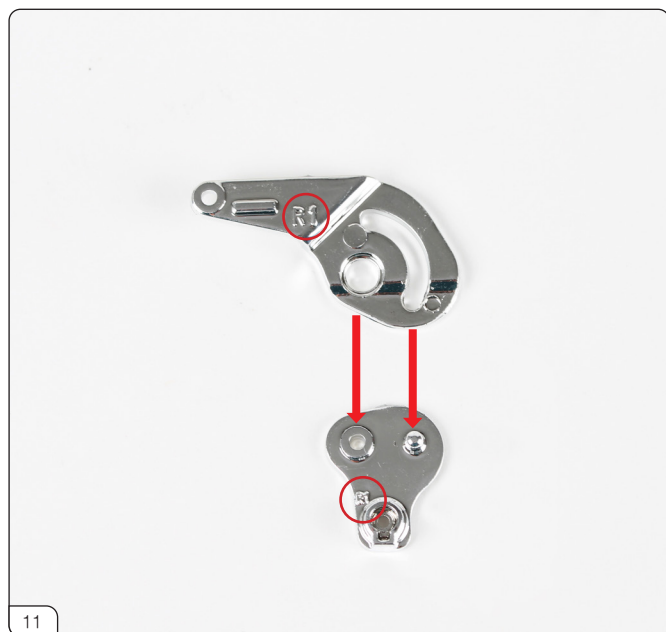
ステージ047 ●ドライバーズシートの組み立て 2



PS36ネジで固定します。このときネジは締めすぎないように注意してください(工程10を参照)。



パーツが自由に動くことを確認します。硬い場合はネジを少し緩めてください。

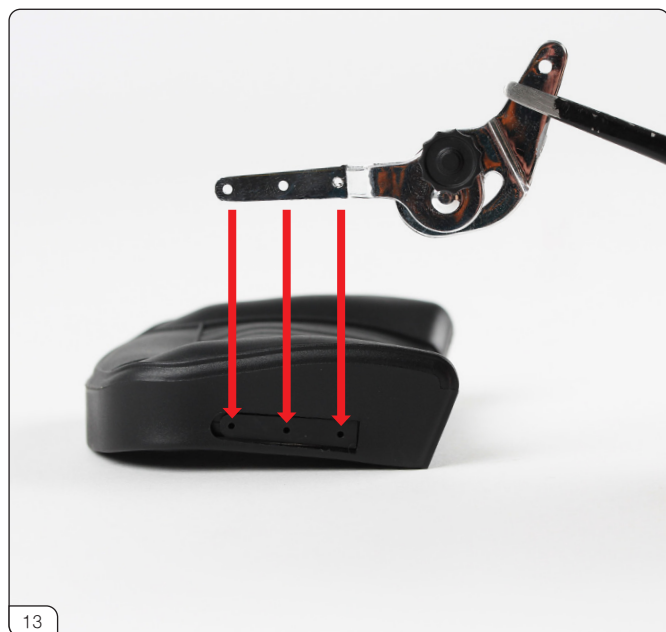


「R1」とマークされたもう一つのバックレストブラケット (47-D) とシートブラケット (47-G) を、画像のように合わせます。



PS36ネジで固定します。パーツが動くようにネジは締めすぎないように注意してください。

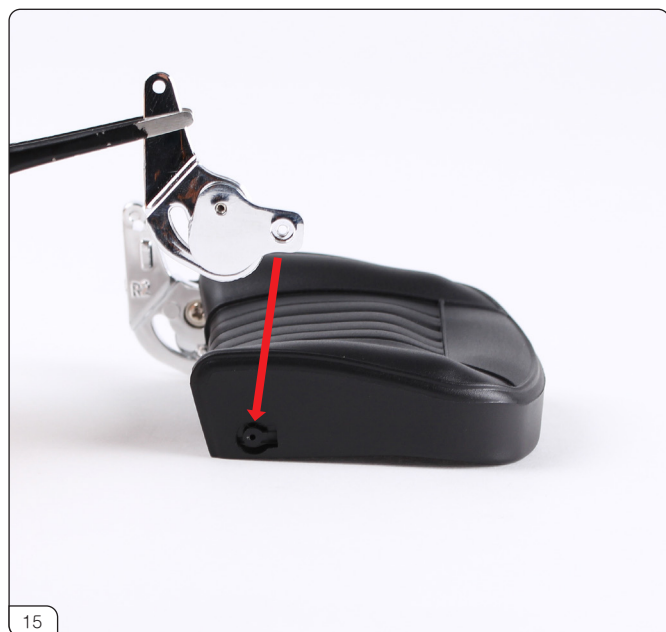
ステージ047 ●ドライバーズシートの組み立て 2



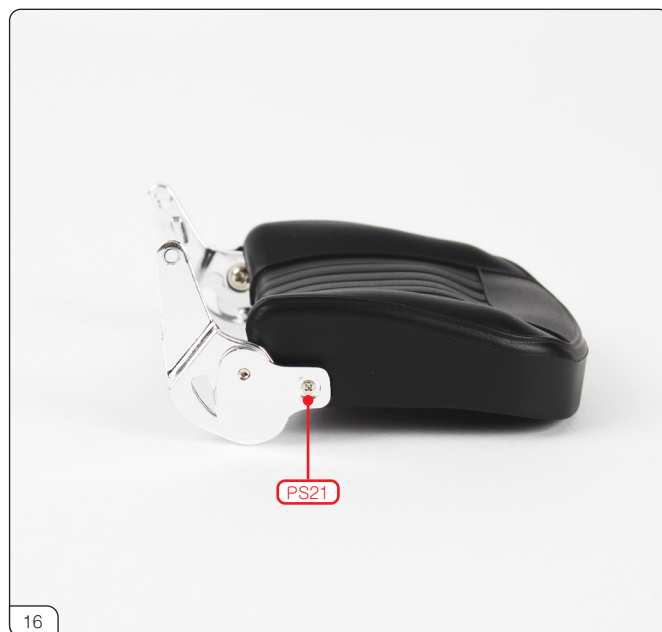
工程10で組み立てたブラケットを、ドライバーズシートバックレストアッセンブリーの3つのネジ穴に合わせます。



PS21ネジ3本でブラケットを固定します。

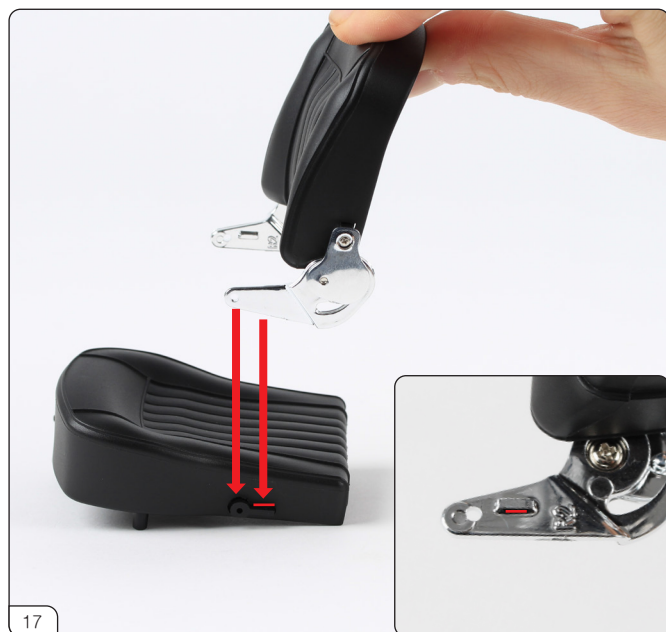


工程12で組み立てたブラケットを反対側のネジ穴に合わせます。



PS21ネジで固定します。

ステージ047 ●ドライバーズシートの組み立て 2



ステージ46で組み立てたドライバーズシートベースアセンブリーに、ドライバーズシートバックレストを取り付けます。ブラケットにある長方形のタブは、ネジ穴（赤線）の上に配置されます。



ドライバーズシートバックレストを取り付け、PS01ネジ2本で固定します。

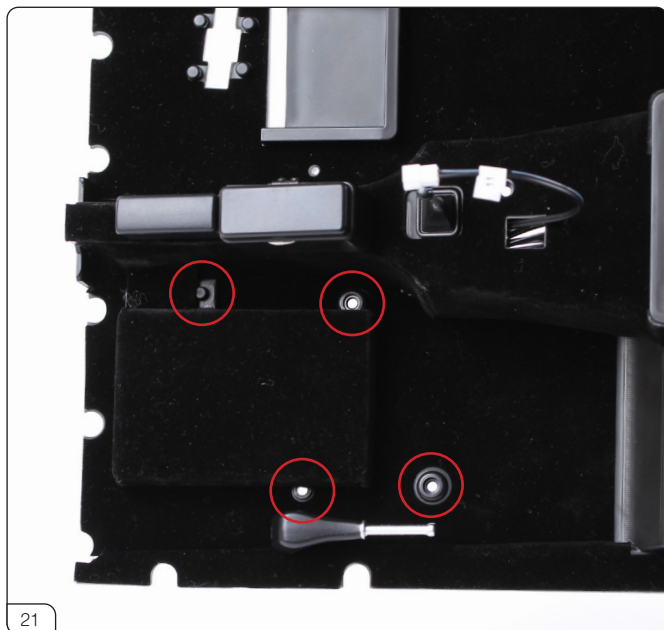


ドライバーズシートバックレストの位置は前後に調整できます。

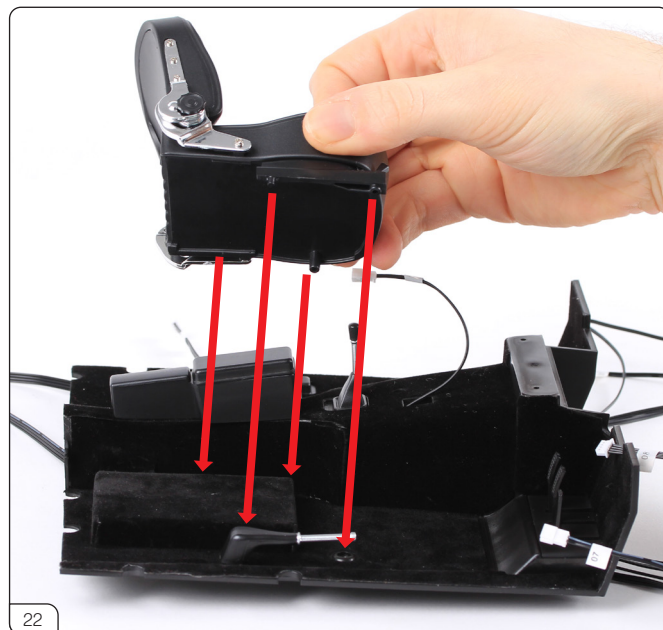


ドライバーズシートバックレストは折りたたむこともできます。

ステージ047 ● ドライバースートの組み立て 2



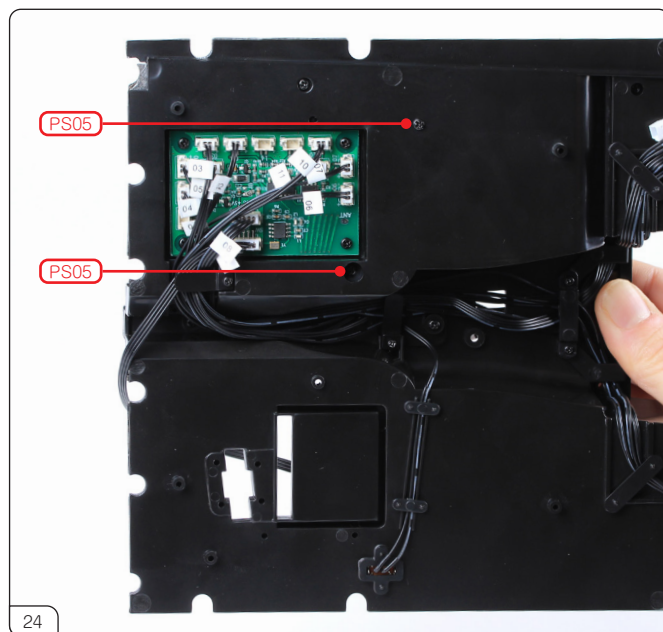
ドライバースートは、コックピットフロアの赤丸印に取り付けられます。



ドライバースートをコックピットフロアに合わせます。



ドライバースートを4つの固定ポイントにはめ込みます。



PS05ネジ2本で下から固定します。

ステージ047●ドライバースートの組み立て 2

ステージの完了

